

# 宇治市スポーツ推進計画改定のためのアンケート調査 調査結果報告書

令和3年10月

宇 治 市

# 目次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査項目	1
3.	調査の設計	1
4.	報告書を見る際の注意事項	2
II	市民アンケート調査結果	3
1.	回答者の属性	3
2.	運動・スポーツの実施状況について	4
3.	スポーツに関するボランティア活動について	16
4.	運動・スポーツに関する情報について	21
5.	宇治市の施策等について	31
III	関係団体等アンケート調査結果	45
1.	団体の運営・活動の現状について	45
2.	新型コロナウイルス感染症の影響について	46
3.	宇治市の施策等について	47
IV	資料編（調査票）	48
1.	市民アンケート調査	48
2.	関係団体等アンケート調査	60

# I 調査概要

## 1. 調査の目的

「スポーツが育むふるさと宇治の魅力と未来」の実現を目標に取り組みを進めてきた「宇治市スポーツ推進計画」の改定及び今後のスポーツ施策の検討等の活用に向けて、市民及び実際に運動・スポーツに取り組まれている団体等に対して運動・スポーツに対する意見を伺うため調査を実施した。

## 2. 調査項目

### (1) 市民アンケート調査

- 回答者の属性（性別・年齢・職業）
- 運動・スポーツの実施状況について
- スポーツに関するボランティア活動について
- 運動・スポーツに関する情報について
- 宇治市の施策等について

### (2) 関係団体等アンケート調査

- 回答団体の属性（団体名称・記入者等）
- 団体の運営・活動の現状について
- 新型コロナウイルス感染症の影響について
- 宇治市の施策等について

## 3. 調査の設計

### (1) 市民調査

- ・調査対象：宇治市内にお住まいの20歳以上の男女 2,000人
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布一郵送・WEB回収
- ・調査期間：令和3年7月21日（水）～ 令和3年8月2日（月）
- ・回収数：522票
- ・有効回収数：520票（有効回収率：26.0%）

### (2) 関係団体等調査

- ・調査対象：宇治市内の運動・スポーツ実施関係団体（111団体）、施設利用団体
- ・調査方法：郵送配布・公共施設利用団体への配布一郵送・WEB回収
- ・調査期間：令和3年7月21日（水）～ 令和3年8月2日（月）
- ・回収数：63票
- ・有効回収数：63票

#### 4. 報告書を見る際の注意事項

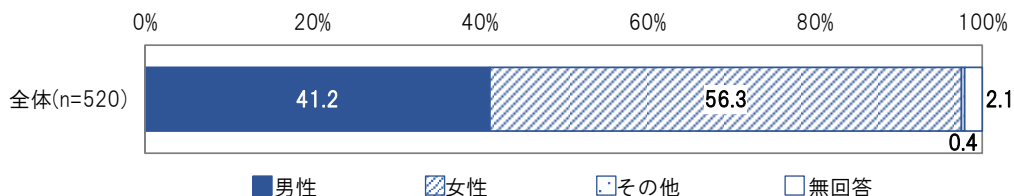
- 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示してある。
- 百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- 1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- グラフ等の記載にあたっては、調査票の選択肢の文言を一部省略している場合がある。
- 市民アンケート調査のクロス集計表については、無回答を除いて、1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。なお、割合が同じ回答が複数ある場合は、3項目以上に網掛けをしている場合がある。
- 市民アンケート調査のクロス集計表については、下記の通り区分して集計している。
  - 《運動の好き嫌い別》
    - ・「運動好き」：好き、どちらかといえば好き
    - ・「運動嫌い」：どちらかといえば嫌い、嫌い
  - 《運動頻度別》※コロナ後
    - ・「運動している」：毎日、週に3日以上、週に1～2日
    - ・「運動していない」：月に数日、ほとんどしていない、まったくしていない

## Ⅱ 市民アンケート調査結果

### 1. 回答者の属性

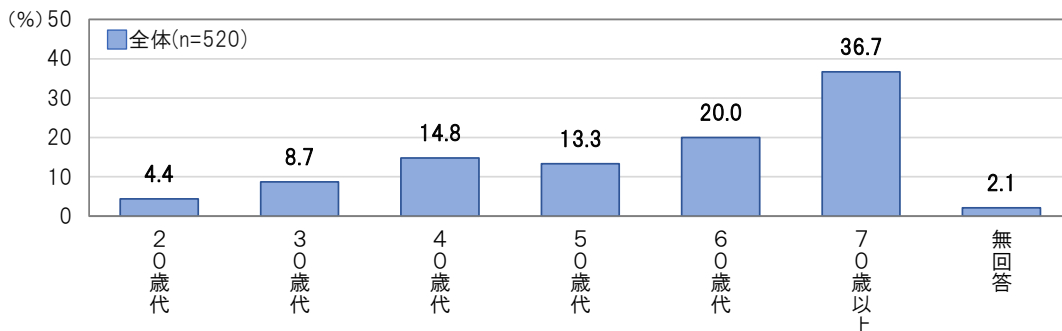
#### (1) 性別

- ・回答者の性別は、「男性」が41.2%、「女性」が56.3%となっている。



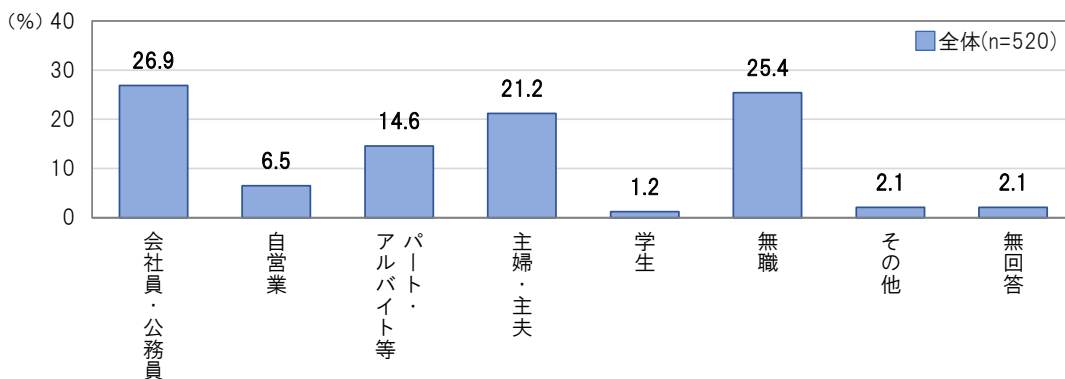
#### (2) 年齢

- ・回答者の年齢は、「70歳以上」が36.7%と3割を超えて最も高く、次いで「60歳代」(20.0%)、「40歳代」(14.8%)の順となっており、『60歳以上』が半数以上を占めている。



#### (3) 職業

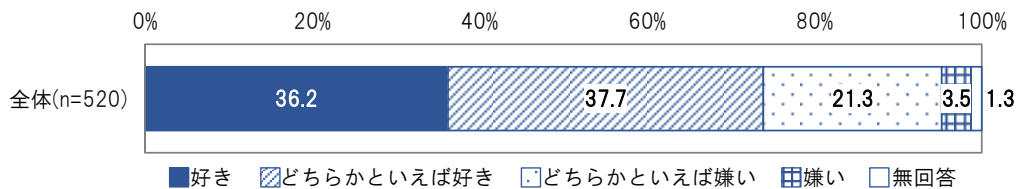
- ・回答者の職業は、「会社員・公務員」が26.9%と3割近くを占めて最も高く、次いで「無職」(25.4%)、「主婦・主夫」(21.2%)の順となっており、『有職者』(「会社員・公務員」+「自営業」+「パート・アルバイト等」)と『無職者』(「主婦・主夫」+「学生」+「無職」)がほぼ同程度となっている。



## 2. 運動・スポーツの実施状況について

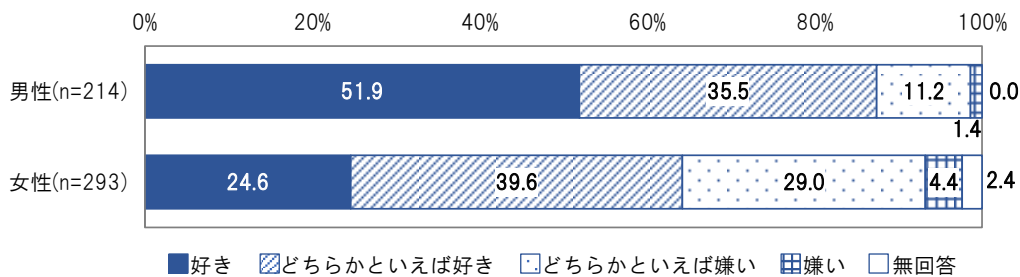
### (1) 運動・スポーツで体を動かすことについて

- ・運動・スポーツで体を動かすことについては、「どちらかといえば好き」が37.7%と4割近くを占めて最も高く、「好き」(36.2%)と合わせると、『運動・スポーツで体を動かすことが好き』な人が7割以上を占めている。
- ・一方で、「どちらかといえば嫌い」(21.3%)と「嫌い」(3.5%)を合わせると、『運動・スポーツで体を動かすことが嫌い』な人が2割以上となっている。



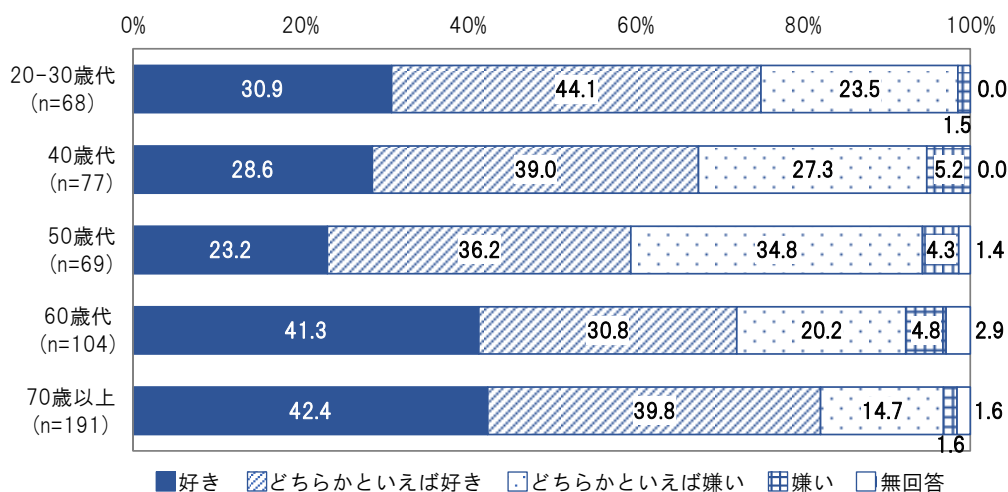
#### 《性別》

- ・性別にみると、『運動・スポーツで体を動かすことが好き』な人が、男性では9割近く(87.4%)を占めるのに対し、女性では6割程度(64.2%)となっている。また、女性では『運動・スポーツで体を動かすことが嫌い』な人が3割以上(33.4%)となっている。



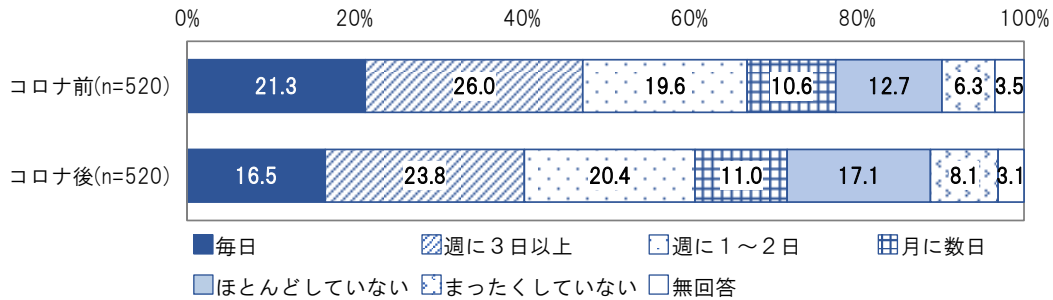
#### 《年代別》

- ・年代別にみると、『運動・スポーツで体を動かすことが好き』な人が、70歳以上で82.2%と8割を超えて最も高くなっているのに対し、50歳代では約6割(59.4%)とその他の年代に比べて低くなっている。



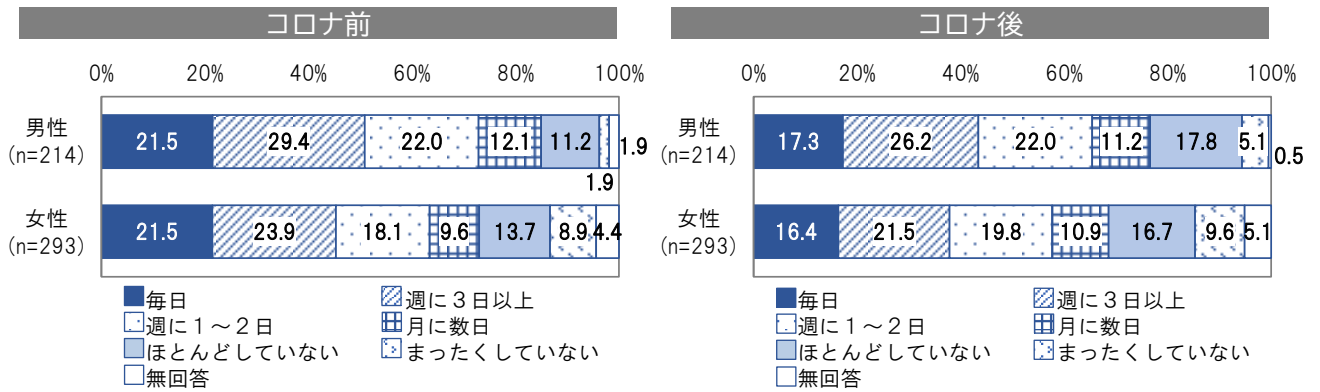
## (2) 運動・スポーツの実施状況

- 運動・スポーツの実施頻度については、『週に1日以上』（「毎日」＋「週に3日以上」＋「週に1～2日」）の実施率が、コロナ前では66.9%となっているのに対し、コロナ後では60.7%とやや低くなっている。
- コロナ前に比べて、コロナ後では「ほとんどしていない」の割合が大きくなっている。



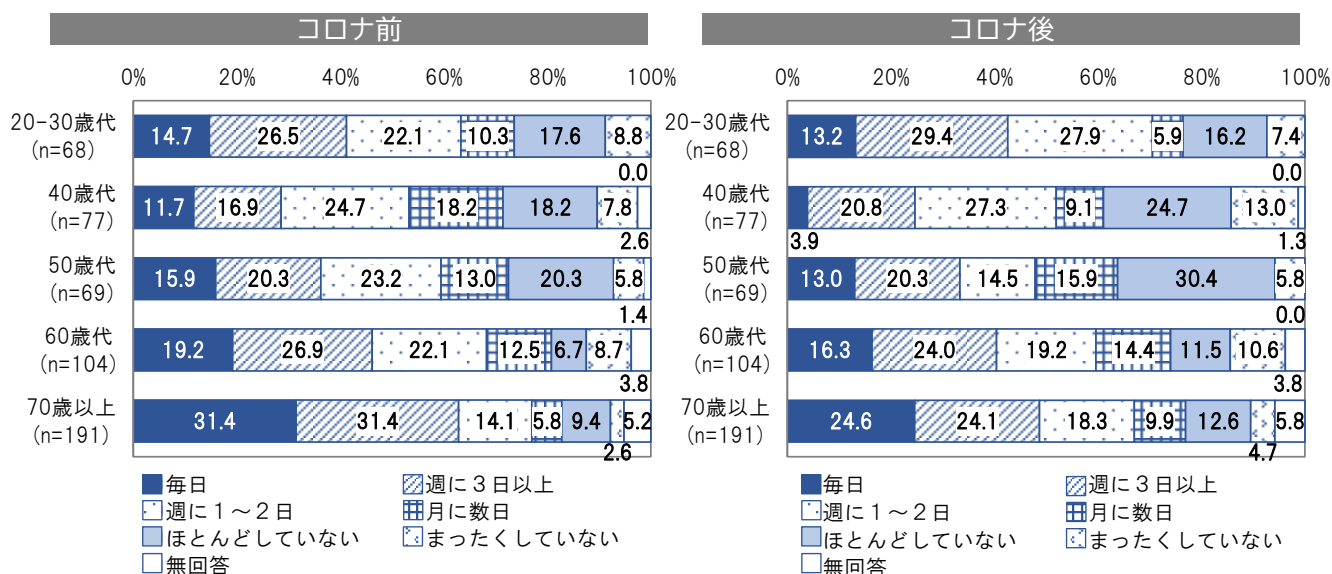
### 《性別》

- 性別にみると、『週に1日以上』の実施率が、コロナ前では男性が7割以上（72.9%）を占めているのに対し、女性では6割程度（63.5%）と10ポイント程度の差がみられる。
- コロナ後では、男性・女性ともに『週に1日以上』の実施率が低くなっており、男性では65.5%、女性では57.7%と、ともに6～7ポイント減少している。特に、男性では「ほとんどしていない」がコロナ前の11.2%からコロナ後には17.8%と大幅に増加している。



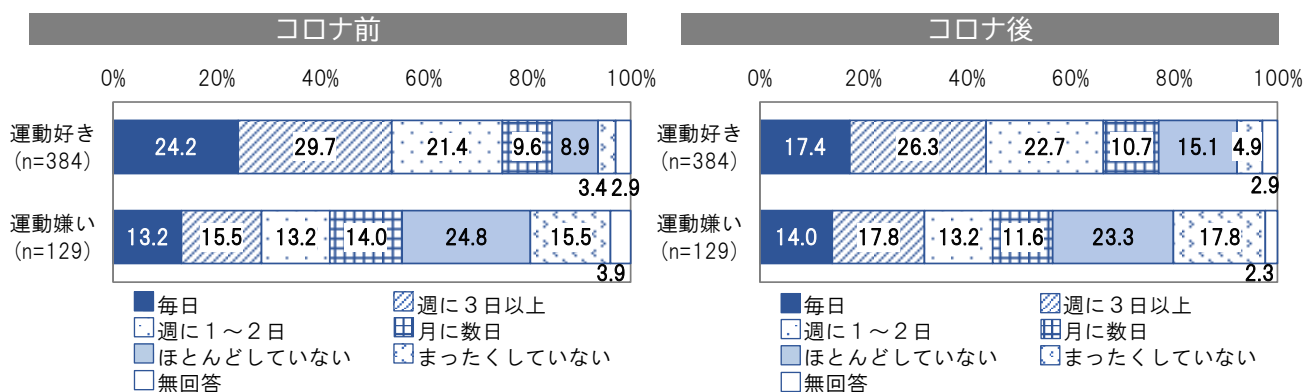
## 《年代別》

- 年代別にみると、『週に1日以上』の実施率が、コロナ前では70歳以上で8割近く（76.9%）と最も高く、40歳以上では年齢が上がるにつれて実施率が高くなっている。一方で、『運動をしない』（「ほとんどしていない」＋「まったくしていない」）をみると、20～50歳代で3割近くを占めて多くなっている。
- コロナ後では、『週に1日以上』の実施率が、20-30歳代ではコロナ前に比べて増加、40歳代では同程度となっているのに対し、50歳以上ではともに10ポイント程度減少している。また、『運動をしない』人が40～50歳代で大幅に増加している。



## 《運動・スポーツの好き嫌い別》

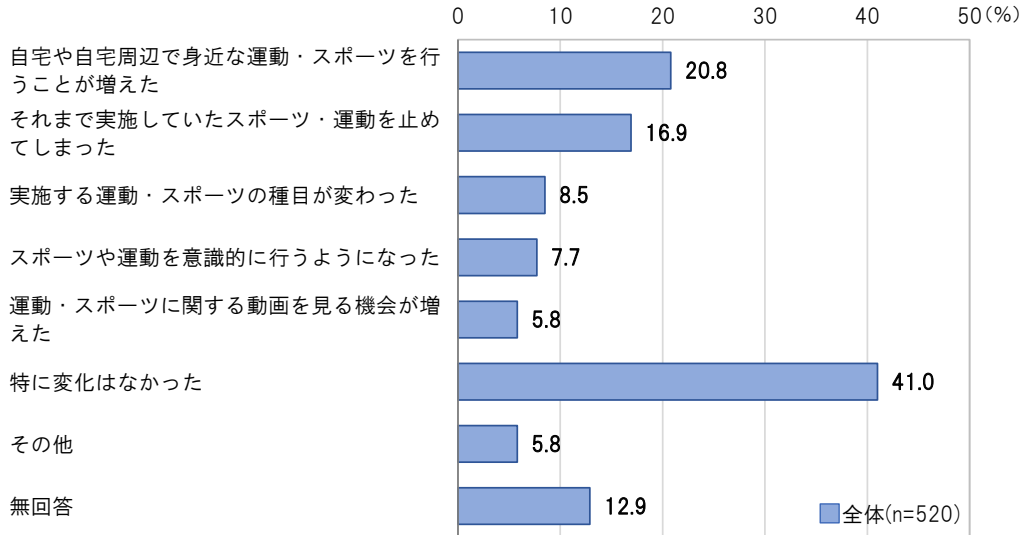
- 運動・スポーツの好き嫌い別にみると、『週に1日以上』の実施率が、コロナ前では運動好きな人が7割以上（75.3%）を占めているのに対し、運動嫌いな人では4割程度（41.9%）と30ポイント以上の差がみられる。
- コロナ後では、運動嫌いな人の『週に1日以上』の実施率はコロナ前に比べて大きく変わらないのに対し、運動好きな人の実施率が大幅に減少している。





### (3) 新型コロナウイルス感染症による運動・スポーツ習慣の変化（複数回答）

- ・新型コロナウイルス感染症による運動・スポーツ習慣の変化については、「特に変化はなかった」が41.0%と4割を超えて最も高くなっているものの、次いで「自宅や自宅周辺で身近な運動・スポーツを行うことが増えた」(20.8%)、「それまで実施していたスポーツ・運動を止めてしまった」(16.9%)の順となっており、何かしらの習慣の変化があった人が4割以上を占めている。



#### 《年代別／運動頻度別》

- ・年代別にみると、70歳以上で「それまで実施していたスポーツ・運動を止めてしまった」が約2割となっており、その他の年代に比べてやや高くなっている。
- ・運動頻度別にみると、運動している人では「自宅や自宅周辺で身近な運動・スポーツを行うことが増えた」、運動していない人では「それまで実施していたスポーツ・運動を止めてしまった」がそれぞれ多くなっている。

		回答者数(人)	自宅や自宅周辺で身近な運動・スポーツを行うことが増えた	それまで実施していたスポーツ・運動を止めてしまった	実施する運動・スポーツの種目が変わった	スポーツや運動を意識的に行うようになった	運動・スポーツに関する動画を見る機会が増えた	特に変化はなかった	その他	無回答
年代	20-30歳代	68	23.5	11.8	7.4	8.8	5.9	45.6	1.5	14.7
	40歳代	77	20.8	18.2	10.4	7.8	2.6	39.0	3.9	13.0
	50歳代	69	18.8	14.5	5.8	8.7	8.7	37.7	2.9	17.4
	60歳代	104	18.3	16.3	7.7	3.8	2.9	41.3	5.8	15.4
	70歳以上	191	23.0	19.4	9.9	9.4	7.9	40.8	8.9	8.4
頻度	運動している	316	26.9	12.0	10.8	10.4	6.3	48.4	5.7	2.2
	運動していない	188	10.6	24.5	5.3	3.2	4.8	30.9	3.7	30.3

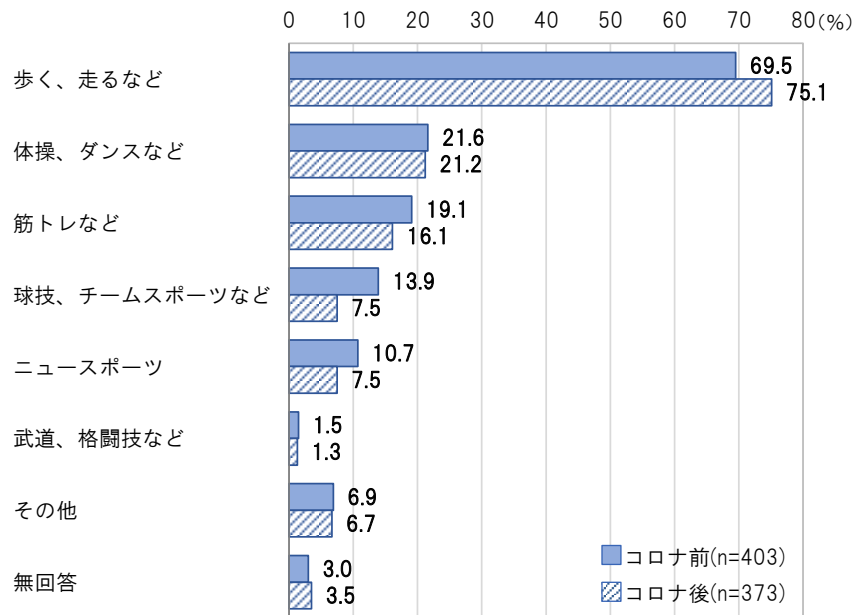
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※年代・運動頻度ともに不明があるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

#### (4) 行っている運動・スポーツの種類（複数回答）

(2) でコロナ前・コロナ後とも「ほとんどしていない」「まったくしていない」と回答した人と無回答を除いた集計

- ・行っている運動・スポーツの種類については、コロナ前・コロナ後ともに、「歩く、走るなど」が6割以上を占めて最も高く、次いで「体操、ダンスなど」、「筋トレなど」の順となっている。
- ・コロナ前とコロナ後で比較すると、コロナ後では「歩く、走るなど」がコロナ前に比べて高くなっているのに対し、「球技、チームスポーツなど」ではコロナ前に比べてコロナ後で低くなっている。



#### 《性別》

- ・性別にみると、コロナ前・コロナ後ともに、男性では「筋トレなど」、「球技、チームスポーツなど」、「ニュースポーツ」が女性に比べて高く、女性では「体操、ダンスなど」が男性に比べて高くなっている。
- ・また、コロナ前とコロナ後で比較すると、男性の「球技、チームスポーツなど」や「ニュースポーツ」、女性の「筋トレなど」で、大幅に実施率が低くなっている。

		回答者数(人)	歩く、走るなど	体操、ダンスなど	筋トレなど	球技、チームスポーツなど	ニュースポーツ	武道、格闘技など	その他	無回答
コロナ前	男性	182	72.5	7.7	23.1	21.4	15.9	1.6	9.9	2.7
	女性	214	66.4	33.6	15.9	7.9	6.5	1.4	4.7	2.8
コロナ後	男性	164	78.7	8.5	22.0	12.8	11.6	1.8	9.1	1.2
	女性	201	72.1	31.8	10.9	3.5	4.5	1.0	5.0	5.0

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※性別不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

## 《年代別》

- 年代別にみると、コロナ前・コロナ後ともに「歩く、走るなど」が最も高く、次いで、コロナ前では20-30歳代は「筋トレなど」や「球技、チームスポーツなど」、50-60歳代は「筋トレなど」、その他の年代は「体操、ダンスなど」が高くなっている。
- 概ね、年代が下がるにつれて「球技、チームスポーツなど」の割合が高くなる傾向がみられ、逆に年代が上がるにつれて「ニュースポーツ」の割合が高くなる傾向がみられる。
- コロナ前とコロナ後を比べると、20-30歳代では「体操、ダンスなど」、40歳代では「筋トレなど」の実施割合がやや高くなっている。

(%)

		回答者数(人)	歩く、走るなど	体操、ダンスなど	筋トレなど	球技、チームスポーツなど	ニュースポーツ	武道、格闘技など	その他	無回答
コロナ前	20-30歳代	50	<b>68.0</b>	12.0	22.0	22.0	2.0	6.0	2.0	4.0
	40歳代	55	<b>54.5</b>	32.7	20.0	25.5	7.3	-	7.3	1.8
	50歳代	50	<b>72.0</b>	14.0	24.0	16.0	6.0	-	6.0	2.0
	60歳代	84	<b>71.4</b>	19.0	19.0	8.3	9.5	1.2	3.6	3.6
	70歳以上	158	<b>72.8</b>	24.7	16.5	10.1	17.1	1.3	10.8	2.5
コロナ後	20-30歳代	52	<b>75.0</b>	21.2	17.3	11.5	5.8	1.9	-	3.8
	40歳代	47	<b>68.1</b>	23.4	23.4	17.0	6.4	2.1	8.5	-
	50歳代	44	<b>77.3</b>	15.9	18.2	6.8	2.3	-	6.8	-
	60歳代	77	<b>72.7</b>	16.9	18.2	3.9	6.5	1.3	3.9	3.9
	70歳以上	147	<b>78.2</b>	24.5	11.6	5.4	10.9	1.4	10.2	4.8

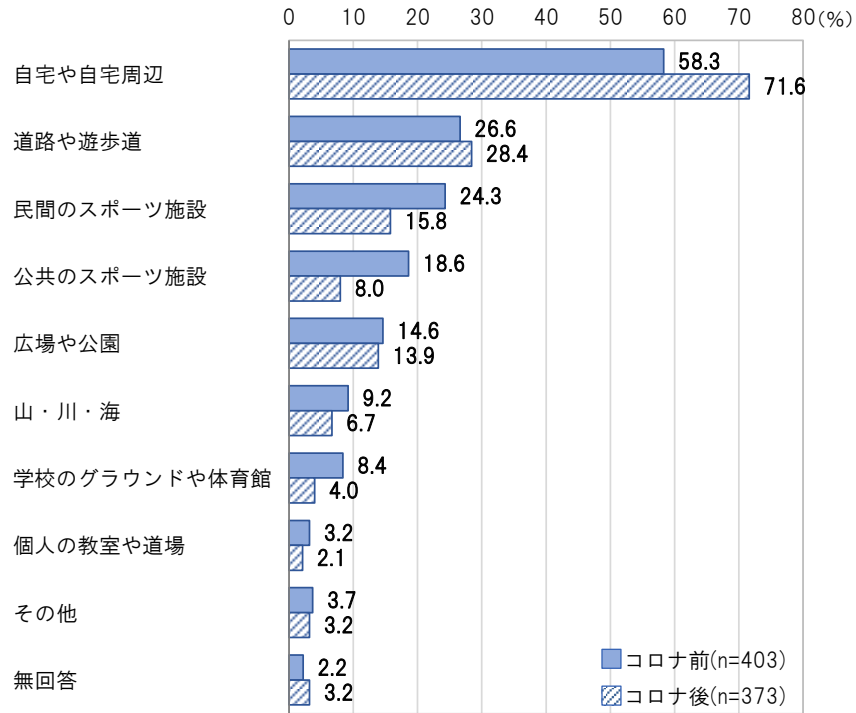
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※年代不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

### (5) 運動・スポーツを行っている場所（複数回答）

(2) でコロナ前・コロナ後とも「ほとんどしていない」「まったくしていない」と回答した人と無回答を除いた集計

- 運動・スポーツを行っている場所については、コロナ前・コロナ後ともに、「自宅や自宅周辺」が最も高く、次いで「道路や遊歩道」、「民間のスポーツ施設」の順となっている。
- コロナ前とコロナ後で比較すると、コロナ後では「自宅や自宅周辺」がコロナ前に比べて高くなっているのに対し、「民間のスポーツ施設」や「公共のスポーツ施設」ではコロナ前に比べてコロナ後で低くなっている。



### 《性別》

- 性別にみると、コロナ前は、男性では「道路や遊歩道」、「公共のスポーツ施設」、「広場や公園」、「山・川・海」などで女性に比べて高くなっている。
- また、コロナ前とコロナ後で比較すると、「民間のスポーツ施設」や「公共のスポーツ施設」で、女性の利用率が10ポイント以上低くなっている。

		回答者数(人)	自宅や自宅周辺	道路や遊歩道	民間のスポーツ施設	公共のスポーツ施設	広場や公園	山・川・海	学校のグラウンドや体育館	個人の教室や道場	その他	無回答
コロナ前	男性	182	54.9	31.3	23.1	21.4	18.1	11.5	9.9	0.5	3.3	2.7
	女性	214	60.7	22.0	25.7	16.4	11.7	6.5	7.5	5.1	4.2	1.9
コロナ後	男性	164	67.7	35.4	18.3	8.5	15.2	9.1	3.7	0.6	4.9	1.8
	女性	201	75.1	22.4	13.9	7.5	12.9	4.5	4.5	3.0	2.0	4.5

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※性別不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

## 《年代別》

- 年代別にみると、コロナ前・コロナ後ともに「自宅や自宅周辺」が最も高く、次いで、コロナ前では40歳代・60歳代は「民間のスポーツ施設」、その他の年代は「道路や遊歩道」が高くなっている。
- 一方で、コロナ後では、すべての年代で「自宅や自宅周辺」に次いで「道路や遊歩道」が高くなっている。コロナ前と比較すると、特に「民間のスポーツ施設」や「公共のスポーツ施設」、「学校のグラウンドや体育館」で、その減少が大きくなっている。

(%)

		回答者数(人)	自宅や自宅周辺	道路や遊歩道	民間のスポーツ施設	公共のスポーツ施設	広場や公園	山・川・海	学校のグラウンドや体育館	個人の教室や道場	その他	無回答
コロナ前	20-30歳代	50	68.0	36.0	24.0	16.0	24.0	4.0	4.0	4.0	-	2.0
	40歳代	55	56.4	16.4	27.3	23.6	14.5	16.4	10.9	5.5	3.6	1.8
	50歳代	50	56.0	32.0	24.0	14.0	16.0	10.0	4.0	-	4.0	2.0
	60歳代	84	61.9	17.9	22.6	16.7	13.1	7.1	8.3	-	2.4	3.6
	70歳以上	158	54.4	29.1	24.7	20.3	12.0	8.2	10.8	4.4	5.7	1.9
コロナ後	20-30歳代	52	78.8	32.7	11.5	5.8	19.2	3.8	1.9	-	1.9	3.8
	40歳代	47	78.7	27.7	14.9	8.5	10.6	12.8	4.3	2.1	6.4	-
	50歳代	44	77.3	29.5	18.2	4.5	18.2	4.5	-	-	-	-
	60歳代	77	71.4	20.8	14.3	5.2	10.4	3.9	3.9	-	2.6	5.2
	70歳以上	147	66.0	30.6	17.7	10.9	13.6	7.5	6.1	4.1	4.1	4.1

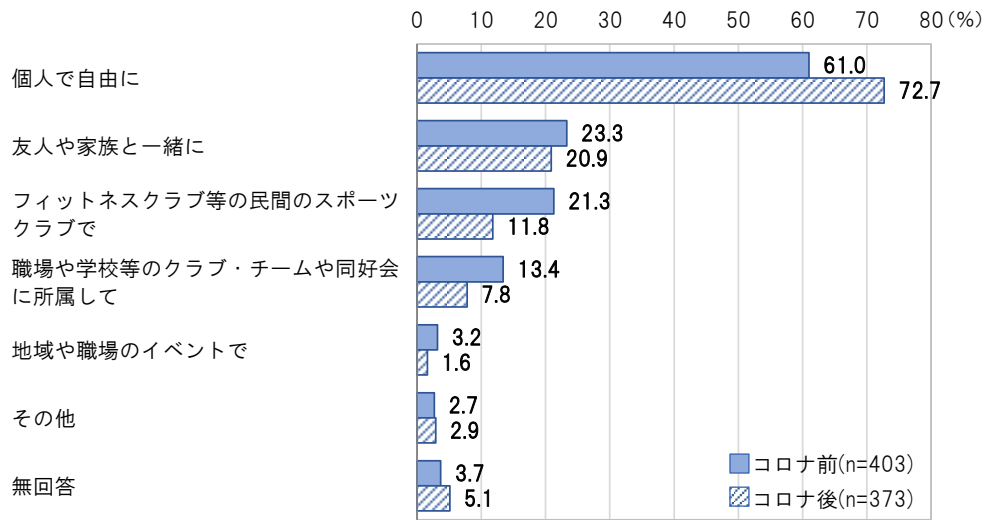
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※年代不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

## (6) 運動・スポーツの実施形態（複数回答）

(2) でコロナ前・コロナ後とも「ほとんどしていない」「まったくしていない」と回答した人と無回答を除いた集計

- 運動・スポーツの実施形態については、コロナ前・コロナ後ともに、「個人で自由に」が最も高く、次いで「友人や家族と一緒に」、「フィットネスクラブ等の民間のスポーツクラブで」の順となっている。
- コロナ前とコロナ後で比較すると、コロナ後では「個人で自由に」がコロナ前に比べて高くなっているのに対し、「フィットネスクラブ等の民間のスポーツクラブで」や「職場や学校等のクラブ・チームや同好会に所属して」ではコロナ前に比べてコロナ後で低くなっている。



### 《性別》

- 性別にみると、コロナ前は男性・女性ともに「個人で自由に」が最も高く、次いで男性では「友人や家族と一緒に」、女性では「フィットネスクラブ等の民間のスポーツクラブで」が高くなっている。
- また、コロナ前とコロナ後で比較すると、男性・女性ともに「フィットネスクラブ等の民間のスポーツクラブで」や「職場や学校等のクラブ・チームや同好会に所属して」で、利用が半分程度に低くなっている。

		回答者数(人)	個人で自由に	友人や家族と一緒に	フィットネスクラブ等の民間のスポーツクラブで	職場や学校等のクラブ・チームや同好会に所属して	地域や職場のイベントで	その他	無回答
コロナ前	男性	182	67.0	20.9	17.0	14.3	3.3	1.1	3.8
	女性	214	55.1	25.2	25.7	12.1	2.8	4.2	3.7
コロナ後	男性	164	76.8	18.9	10.4	7.3	3.0	2.4	3.0
	女性	201	69.2	23.4	13.4	7.5	0.5	3.5	7.0

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※性別不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

## 《年代別》

- 年代別にみると、コロナ前・コロナ後ともに「個人で自由に」が最も高く、次いで、コロナ前では50歳代・70歳以上は「フィットネスクラブ等の民間のスポーツクラブで」、その他の年代は「友人や家族と一緒に」が高くなっている。
- 一方で、コロナ後では、すべての年代で「友人や家族と一緒に」が高くなっている。
- 40歳代では、「フィットネスクラブ等の民間のスポーツクラブで」の運動がその他の年代に比べてやや高くなっている。

(%)

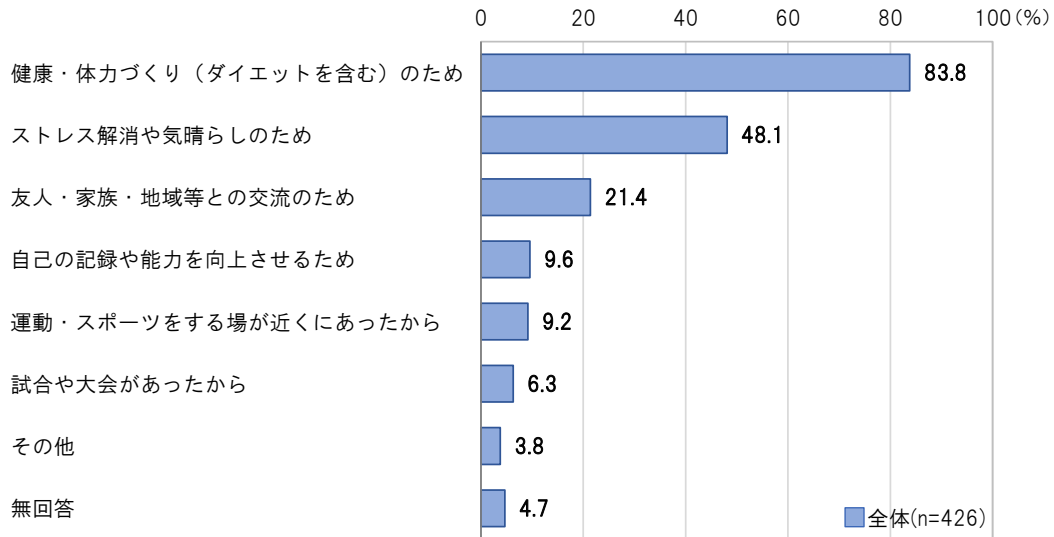
		回答者数 (人)	個人で自由に	友人や家族と一緒に	フィットネスクラブ等の 民間のスポーツクラブで	職場や学校等のクラブ・チ ームや同好会に所属して	地域や職場のイベントで	その他	無回答
コロナ前	20-30歳代	50	70.0	28.0	22.0	12.0	2.0	2.0	2.0
	40歳代	55	52.7	30.9	29.1	14.5	3.6	1.8	1.8
	50歳代	50	62.0	18.0	22.0	10.0	-	4.0	6.0
	60歳代	84	59.5	25.0	15.5	10.7	3.6	3.6	4.8
	70歳以上	158	60.8	19.6	22.2	15.2	3.8	2.5	3.8
コロナ後	20-30歳代	52	78.8	26.9	9.6	5.8	1.9	3.8	3.8
	40歳代	47	78.7	23.4	17.0	6.4	2.1	-	-
	50歳代	44	77.3	20.5	13.6	2.3	2.3	-	4.5
	60歳代	77	68.8	19.5	10.4	5.2	-	3.9	6.5
	70歳以上	147	69.4	19.7	11.6	10.9	2.0	4.1	6.8

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※年代不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

### (7) 運動・スポーツをする理由（複数回答）

(2) でコロナ前・コロナ後とも「ほとんどしていない」「まったくしていない」と回答した人と無回答を除いた集計・運動・スポーツをする理由については、「健康・体力づくり（ダイエットを含む）のため」が83.8%と8割を超えて最も高く、次いで「ストレス解消や気晴らしのため」（48.1%）、「友人・家族・地域等との交流のため」（21.4%）の順となっている。



### 《性別／年代別》

- 性別にみると、男性では「自己の記録や能力を向上させるため」、「試合や大会があったから」が女性に比べてやや高く、女性では「ストレス解消や気晴らしのため」が男性に比べてやや高くなっている。
- 年代別にみると、40歳代では「ストレス解消や気晴らしのため」、40歳代・70歳以上では「友人・家族・地域等との交流のため」、70歳以上では「運動・スポーツをする場が近くにあったから」がその他の年代に比べてやや高くなっている。

		回答者数 (人)	健康・体力づくり (ダイエットを含む) のため	ストレス解消や気晴らしのため	友人・家族・地域等との交流のため	自己の記録や能力を向上させるため	運動・スポーツをする場が近くにあったから	試合や大会があったから	その他	無回答
性別	男性	186	84.4	45.2	23.1	12.9	9.1	10.2	3.8	4.8
	女性	231	83.5	50.2	20.8	6.9	9.1	3.5	3.5	4.8
年代	20-30歳代	54	85.2	48.1	20.4	11.1	3.7	7.4	-	1.9
	40歳代	57	77.2	56.1	26.3	14.0	7.0	8.8	-	3.5
	50歳代	55	90.9	47.3	12.7	5.5	5.5	1.8	1.8	3.6
	60歳代	87	88.5	46.0	11.5	11.5	3.4	6.9	2.3	8.0
	70歳以上	166	80.7	46.4	28.9	7.8	15.7	6.6	7.2	4.8

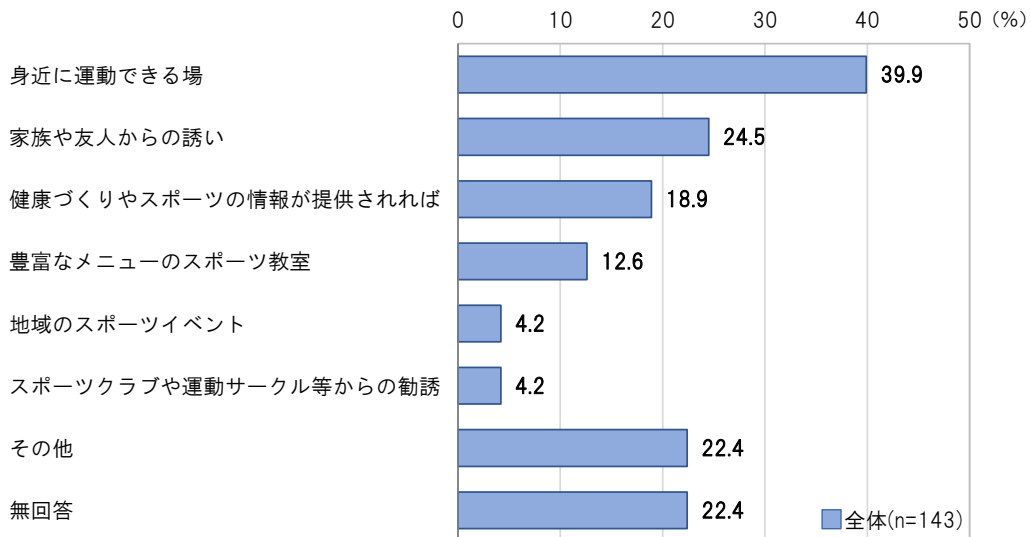
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※性別・年代ともに不明があるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。



**(8) 運動・スポーツをしたいと思うきっかけ・チャンス（複数回答）**

(2) でコロナ前・コロナ後とも「ほとんどしていない」「まったくしていない」と回答した人のみの集計  
 ・運動・スポーツをしたいと思うきっかけ・チャンスについては、「身近に運動できる場」が39.9%と約4割を占めて最も高く、次いで「家族や友人からの誘い」(24.5%)、「健康づくりやスポーツの情報が提供されれば」(18.9%)の順となっている。



《性別／年代別／運動・スポーツの好き嫌い別》

- ・性別にみると、女性では「身近に運動できる場」や「豊富なメニューのスポーツ教室」などで男性に比べてやや高くなっている。
- ・年代別にみると、20-30歳代・50歳代では「家族や友人からの誘い」、60歳代では「健康づくりやスポーツの情報が提供されれば」がその他の年代に比べてやや高くなっている。
- ・運動・スポーツの好き嫌い別にみると、運動嫌いの人では「家族や友人からの誘い」や「健康づくりやスポーツの情報が提供されれば」がやや高くなっている。

		回答者数(人)	身近に運動できる場	家族や友人からの誘い	健康づくりやスポーツの情報が提供されれば	豊富なメニューのスポーツ教室	地域のスポーツイベント	スポーツクラブや運動サークル等からの勧誘	その他	無回答
性別	男性	49	32.7	22.4	16.3	2.0	2.0	4.1	22.4	32.7
	女性	88	43.2	26.1	20.5	18.2	5.7	4.5	22.7	15.9
年代	20-30歳代	20	50.0	30.0	15.0	15.0	10.0	5.0	5.0	30.0
	40歳代	30	43.3	20.0	10.0	16.7	-	3.3	30.0	23.3
	50歳代	29	34.5	34.5	24.1	20.7	6.9	6.9	20.7	24.1
	60歳代	26	50.0	23.1	38.5	11.5	3.8	3.8	15.4	-
	70歳以上	33	24.2	18.2	9.1	-	3.0	3.0	33.3	33.3
好き嫌い	運動好き	82	42.7	20.7	17.1	13.4	4.9	3.7	19.5	26.8
	運動嫌い	60	36.7	30.0	20.0	11.7	3.3	5.0	26.7	16.7

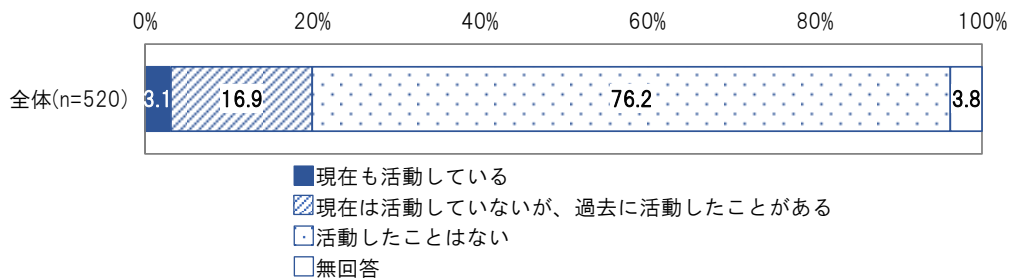
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※性別・年代ともに不明がいるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

### 3. スポーツに関するボランティア活動について

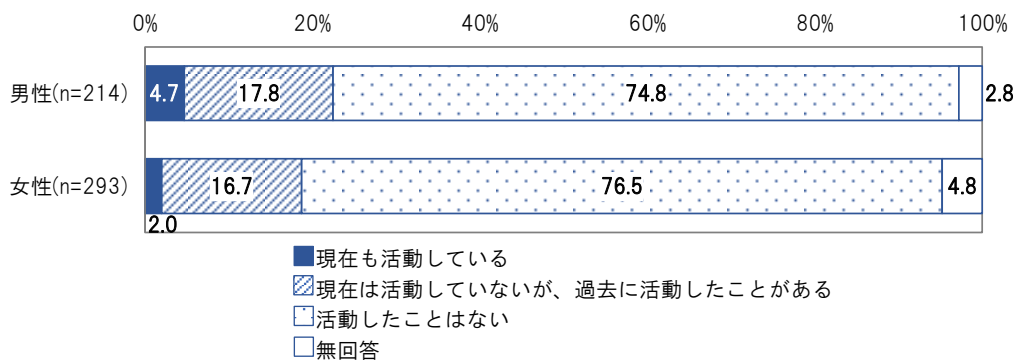
#### (1) 運動・スポーツに関するボランティア活動の実施有無

・運動・スポーツに関するボランティア活動については、「活動したことはない」が76.2%と7割を超えて最も高く、「現在も活動している」(3.1%)と「現在は活動していないが、過去に活動したことがある」(16.9%)を合わせると、『活動したことがある』人は約2割となっている。



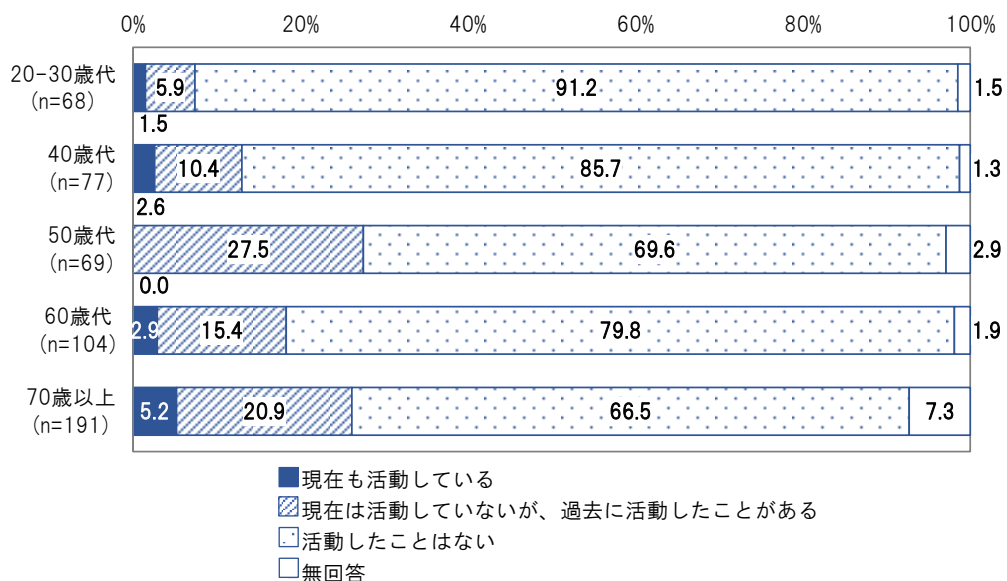
#### 《性別》

・性別にみると、『活動したことがある』人が、女性に比べて男性でやや多くなっているものの、大きな差はみられない。



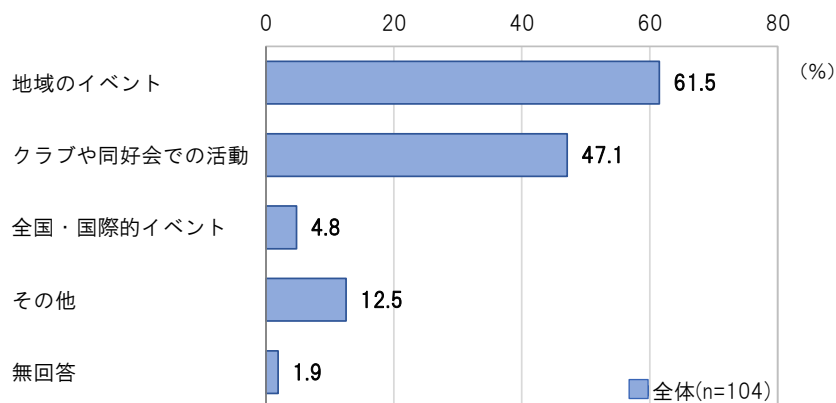
#### 《年代別》

・年代別にみると、『活動したことがある』人が、50歳代・70歳以上では2割を超えて多くなっているのに対し、20-30歳代では1割未満となっており、その他の年代に比べて低くなっている。



## (2) 行ったボランティア活動の種類（複数回答）

- (1) で「現在も活動している」「現在は活動していないが、過去に活動したことがある」と回答した人のみの集計
- 行ったボランティア活動の種類については、「地域のイベント」が61.5%と6割以上を占めて最も高く、次いで「クラブや同好会での活動」（47.1%）となっている。



### 《性別／運動頻度別》

- 性別にみると、男性では「クラブや同好会での活動」や「全国・国際的イベント」が女性に比べて高くなっている。
- 運動頻度別にみると、運動している人では「全国・国際的イベント」が1割近くとなっているのに対し、運動していない人では実施がない結果となっている。また、運動していない人では「クラブや同好会での活動」が運動している人に比べてやや多くなっている。

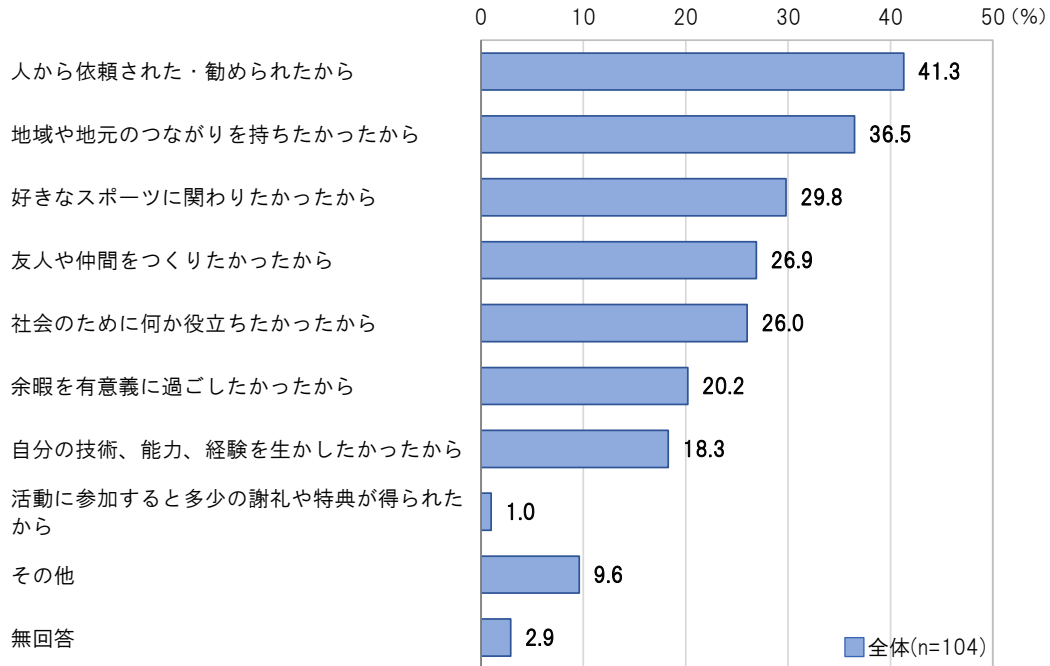
		回答者数 (人)	地域のイベント	クラブや同好会での活動	全国・国際的イベント	その他	無回答
性別	男性	48	62.5	60.4	8.3	8.3	-
	女性	55	60.0	36.4	1.8	16.4	3.6
頻度	運動している	66	65.2	43.9	7.6	12.1	3.0
	運動していない	34	55.9	52.9	-	14.7	-

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※性別・運動頻度ともに不明があるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

### (3) ボランティア活動を始めたきっかけ（複数回答）

(1) で「現在も活動している」「現在は活動していないが、過去に活動したことがある」と回答した人のみの集計  
 ・ボランティア活動を始めたきっかけについては、「人から依頼された・勧められたから」が41.3%と4割以上を占めて最も高く、次いで「地域や地元のつながりを持ちたかったから」(36.5%)、「好きなスポーツに関わりたかったから」(29.8%)の順となっている。



### 《性別／運動頻度別》

- ・性別にみると、男性では「好きなスポーツに関わりたかったから」、女性では「人から依頼された・勧められたから」が最も高くなっている。男性ではその他、「地域や地元のつながりを持ちたかったから」や「友人や仲間をつくりたかったから」などで女性に比べて高くなっている。
- ・運動頻度別にみると、運動している人では「好きなスポーツに関わりたかったから」や「友人や仲間をつくりたかったから」、運動していない人では「人から依頼された・勧められたから」がそれぞれ多くなっている。

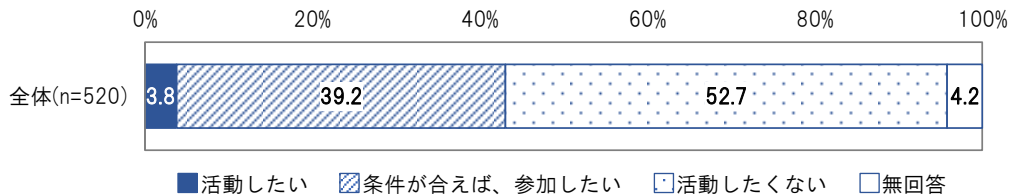
		回答者数 (人)	人から依頼された・勧められたから	地域や地元のつながりを持ちたかったから	好きなスポーツに関わりたかったから	友人や仲間をつくりたかったから	社会のために何か役立ちたかったから	余暇を有意義に過ごしたかったから	自分の技術、能力、経験を生かしたかったから	活動に参加すると多少の謝礼や特典が得られたから	その他	無回答
性別	男性	48	33.3	43.8	<b>50.0</b>	35.4	25.0	27.1	20.8	-	10.4	2.1
	女性	55	<b>47.3</b>	30.9	12.7	20.0	25.5	14.5	14.5	1.8	9.1	3.6
頻度	運動している	66	<b>40.9</b>	36.4	37.9	27.3	28.8	21.2	19.7	-	4.5	4.5
	運動していない	34	<b>44.1</b>	38.2	14.7	17.6	23.5	14.7	17.6	2.9	17.6	-

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※性別・運動頻度ともに不明があるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

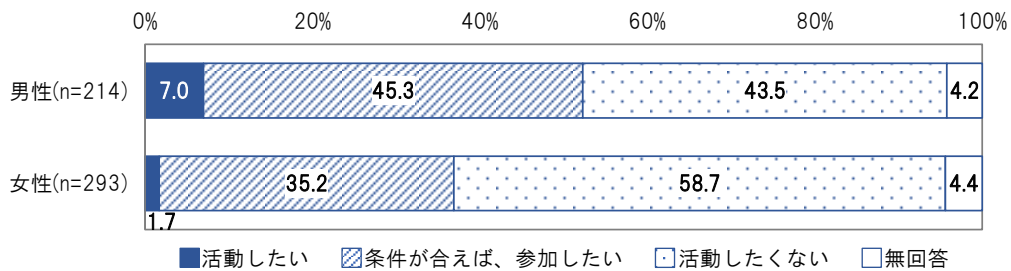
#### (4) スポーツに関わるボランティア活動への今後の参加意向

- スポーツに関わるボランティア活動への今後の参加意向については、「活動したくない」が52.7%と半数を超えて最も高く、「活動したい」(3.8%)と「条件が合えば、参加したい」(39.2%)を合わせると、『活動したい』人は4割程度となっている。



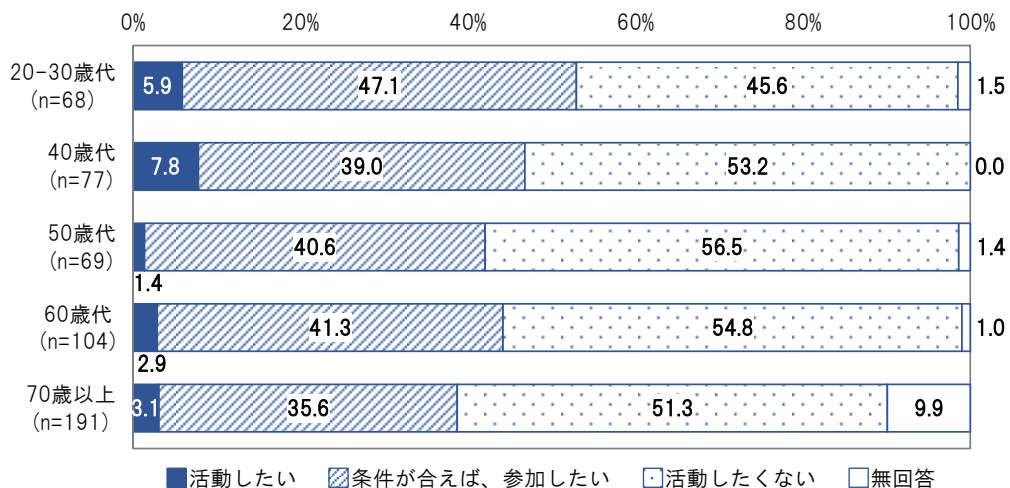
#### 《性別》

- 性別にみると、『活動したい』人が、男性では半数以上(52.3%)を占めるのに対し、女性では4割未満(36.9%)となっている。



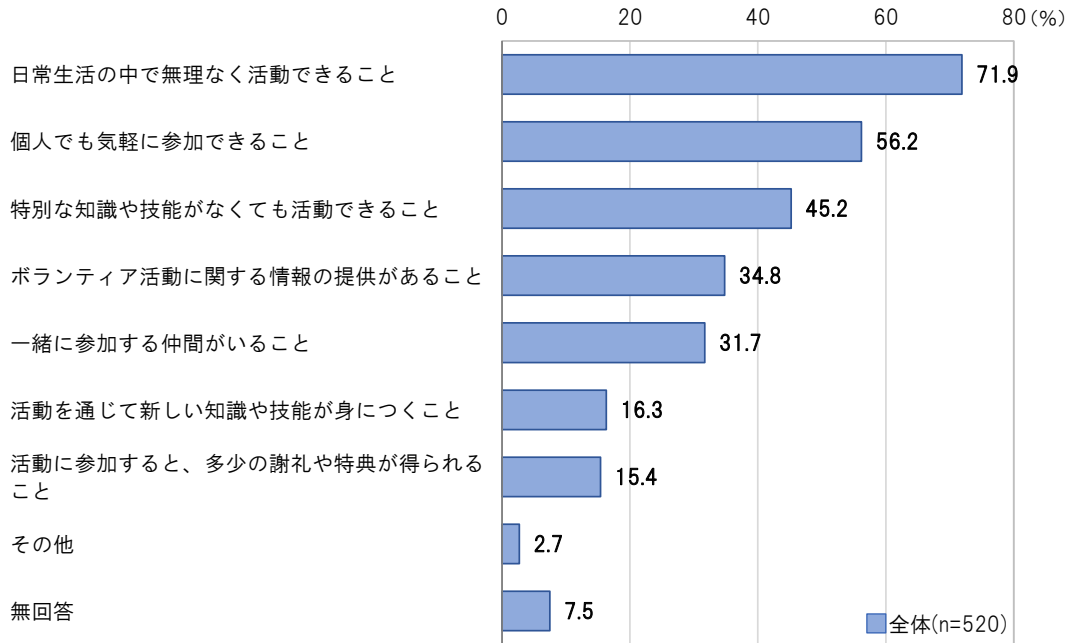
#### 《年代別》

- 年代別にみると、概ね、年代が下がるにつれて『活動したい』人の割合が高くなる傾向がみられ、20-30歳代では53.0%と半数以上を占めている。



### (5) ボランティア活動への参加を増やしていくために必要なこと（複数回答）

- ボランティア活動への参加を増やしていくために必要なことについては、「日常生活の中で無理なく活動できること」が71.9%と7割を超えて最も高く、次いで「個人でも気軽に参加できること」(56.2%)、「特別な知識や技能がなくても活動できること」(45.2%)の順となっている。



### 《性別／年代別》

- 性別にみると、男性では「個人でも気軽に参加できること」で女性に比べてやや高く、女性では「一緒に参加する仲間がいること」で男性に比べてやや高くなっている。
- 年代別にみると、50-60歳代では「個人でも気軽に参加できること」や「特別な知識や技能がなくても活動できること」、20-50歳代では「活動に参加すると、多少の謝礼や特典が得られること」などで、それぞれその他の年代に比べてやや高くなっている。

		回答者数(人)	日常生活の中で無理なく活動できること	個人でも気軽に参加できること	特別な知識や技能がなくても活動できること	ボランティア活動に関する情報の提供があること	一緒に参加する仲間がいること	活動を通じて新しい知識や技能が身につくこと	活動に参加すると、多少の謝礼や特典が得られること	その他	無回答
性別	男性	214	72.4	61.2	43.0	36.9	29.4	15.4	10.7	3.3	6.5
	女性	293	70.6	51.9	45.7	33.8	33.4	17.1	18.4	2.4	8.5
年代	20-30歳代	68	75.0	52.9	38.2	38.2	35.3	22.1	33.8	2.9	2.9
	40歳代	77	72.7	55.8	42.9	44.2	40.3	20.8	22.1	2.6	5.2
	50歳代	69	71.0	58.0	47.8	43.5	31.9	15.9	29.0	-	-
	60歳代	104	74.0	60.6	49.0	34.6	20.2	10.6	8.7	4.8	1.9
	70歳以上	191	68.6	53.9	44.5	27.2	33.5	15.7	4.2	2.6	16.2

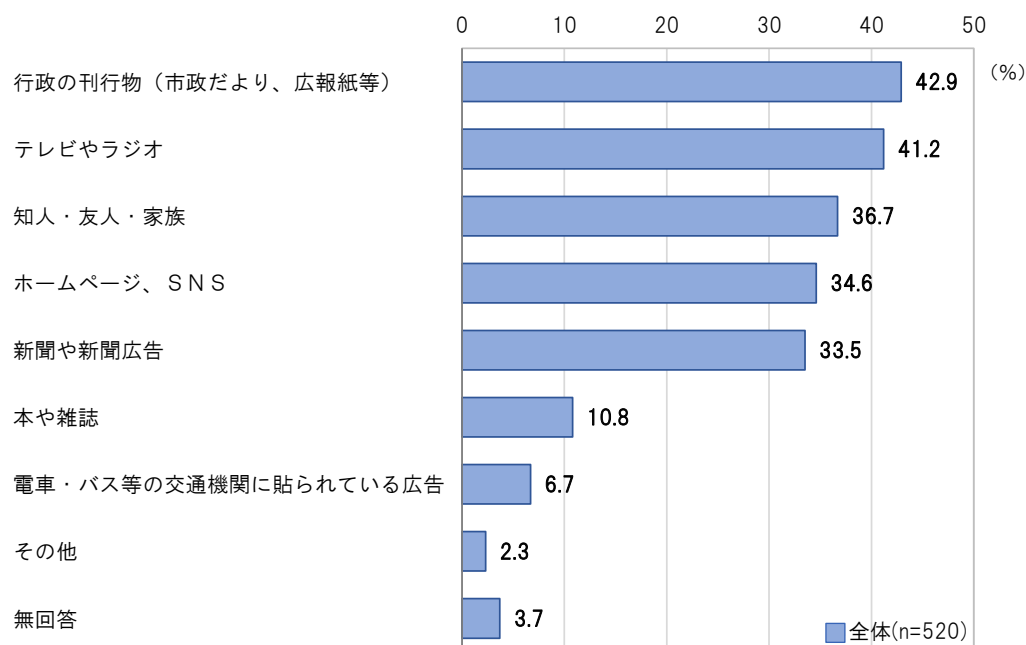
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※性別・年代ともに不明があるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

## 4. 運動・スポーツに関する情報について

### (1) 運動・スポーツに関する情報の入手先（複数回答）

- 運動・スポーツに関する情報の入手先については、「行政の刊行物」（42.9%）と「テレビやラジオ」（41.2%）がともに4割を超えて高く、次いで「知人・友人・家族」（36.7%）、「ホームページ、SNS」（34.6%）、「新聞や新聞広告」（33.5%）の順となっている。



### 《性別／年代別》

- 性別にみると、男性では「テレビやラジオ」や「新聞や新聞広告」で女性に比べて高く、女性では「行政の刊行物」や「知人・友人・家族」で男性に比べて高くなっている。
- 年代別にみると、20-40歳代では「ホームページ、SNS」、50歳代では「テレビやラジオ」、60歳以上では「行政の刊行物」が最も高くなっている。年代が下がるにつれて「ホームページ、SNS」、年代が上がるにつれて「新聞や新聞広告」が高くなる傾向がみられる。

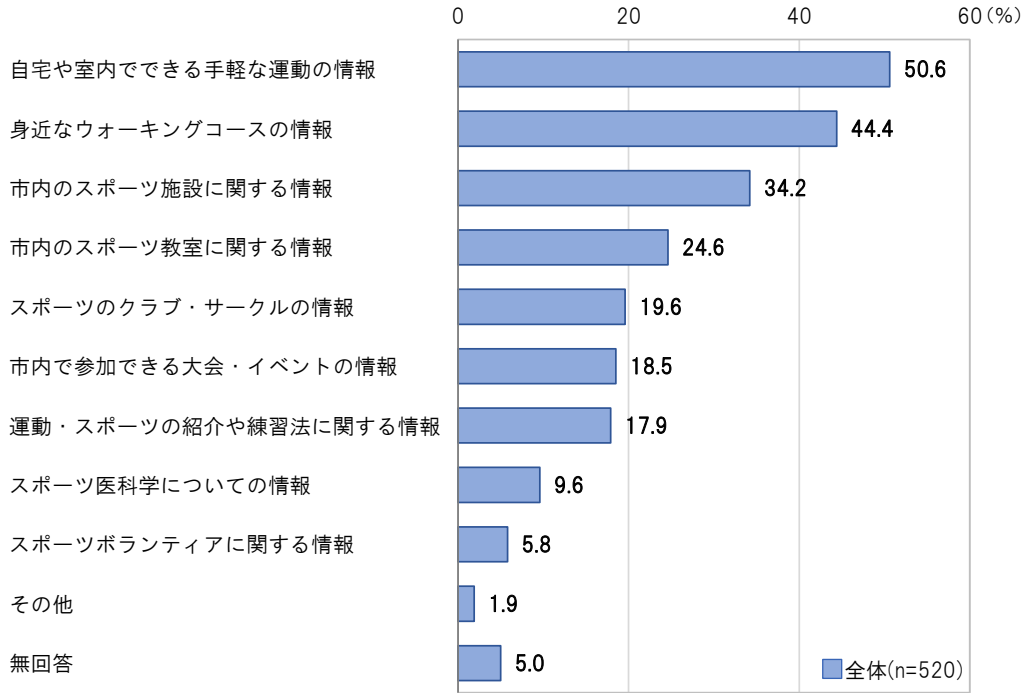
		回答者数（人）	行政の刊行物（市政だより、広報紙等）	テレビやラジオ	知人・友人・家族	ホームページ、SNS	新聞や新聞広告	本や雑誌	電車・バス等の交通機関に貼られている広告	その他	無回答
性別	男性	214	35.0	<b>50.0</b>	31.3	35.0	39.7	13.1	7.0	2.8	2.8
	女性	293	<b>48.1</b>	34.1	41.6	34.1	29.7	8.5	6.1	2.0	4.1
年代	20-30歳代	68	29.4	36.8	35.3	<b>70.6</b>	11.8	10.3	11.8	-	1.5
	40歳代	77	40.3	24.7	40.3	<b>62.3</b>	18.2	7.8	9.1	3.9	3.9
	50歳代	69	42.0	<b>50.7</b>	30.4	47.8	33.3	10.1	11.6	5.8	-
	60歳代	104	<b>47.1</b>	45.2	38.5	25.0	40.4	12.5	5.8	1.0	1.0
	70歳以上	191	<b>46.1</b>	43.5	38.2	11.0	44.5	10.5	2.1	2.1	6.8

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※性別・年代ともに不明があるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

## (2) 運動・スポーツに関してあれば良いと思う情報（複数回答）

・運動・スポーツに関してあれば良いと思う情報については、「自宅や室内でできる手軽な運動の情報」が50.6%と約半数を占めて最も高く、次いで「身近なウォーキングコースの情報」(44.4%)、「市内のスポーツ施設に関する情報」(34.2%)、「市内のスポーツ教室に関する情報」(24.6%)の順となっている。



### 《性別》

・性別にみると、男性では「市内のスポーツ施設に関する情報」や「市内で参加できる大会・イベントの情報」、「運動・スポーツの紹介や練習法に関する情報」などで女性に比べて高く、女性では「自宅や室内でできる手軽な運動の情報」で男性に比べて高くなっている。

		回答者数 (人)	自宅や室内でできる手軽な運動の情報	身近なウォーキングコースの情報	市内のスポーツ施設に関する情報	市内のスポーツ教室に関する情報	スポーツのクラブ・サークルの情報	市内で参加できる大会・イベントの情報	運動・スポーツの紹介や練習法に関する情報	スポーツ医科学についての情報	スポーツボランティアに関する情報	その他	無回答
性別	男性	214	42.1	<b>44.9</b>	39.7	23.8	20.6	26.2	22.9	9.8	7.5	2.8	4.7
	女性	293	<b>56.3</b>	44.7	30.4	24.9	18.8	13.0	14.3	9.6	4.8	1.4	5.5

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※性別不明がいるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。



### 《年代別／運動・スポーツの好き嫌い別／運動頻度別》

- 年代別にみると、40歳代では「市内のスポーツ施設に関する情報」、その他の年代では「自宅や室内でできる手軽な運動の情報」が最も高くなっている。その他、20-30歳代では「運動・スポーツの紹介や練習法に関する情報」、40歳代では「市内のスポーツ教室に関する情報」や「市内で参加できる大会・イベントの情報」などで、その他の年代に比べてやや高くなっている。
- 運動・スポーツの好き嫌い別にみると、運動好きな人では「市内のスポーツ施設に関する情報」や「スポーツのクラブ・サークルの情報」、「市内で参加できる大会・イベントの情報」などで運動嫌いな人に比べて高く、運動嫌いな人では「自宅や室内でできる手軽な運動の情報」で運動好きな人に比べて高くなっている。
- 運動頻度別にみると、運動をしている人では「身近なウォーキングコースの情報」や「スポーツのクラブ・サークルの情報」、「運動・スポーツの紹介や練習法に関する情報」などで、運動をしていない人に比べてやや高くなっている。

(%)

		回答者数(人)	自宅や室内でできる手軽な運動の情報	身近なウォーキングコースの情報	市内のスポーツ施設に関する情報	市内のスポーツ教室に関する情報	スポーツのクラブ・サークルの情報	市内で参加できる大会・イベントの情報	運動・スポーツの紹介や練習法に関する情報	スポーツ医学についての情報	スポーツボランティアに関する情報	その他	無回答
年代	20-30歳代	68	57.4	48.5	35.3	22.1	25.0	19.1	25.0	10.3	5.9	-	1.5
	40歳代	77	39.0	31.2	46.8	29.9	22.1	29.9	15.6	14.3	11.7	2.6	6.5
	50歳代	69	58.0	52.2	36.2	23.2	14.5	14.5	20.3	8.7	5.8	1.4	2.9
	60歳代	104	50.0	46.2	34.6	27.9	14.4	12.5	16.3	6.7	3.8	1.9	1.9
	70歳以上	191	50.3	45.0	27.7	21.5	20.9	18.3	16.2	9.4	4.7	2.6	8.4
好き嫌い	運動好き	384	45.8	44.0	38.0	26.6	23.4	22.4	19.5	10.2	7.3	1.8	3.9
	運動嫌い	129	62.8	45.0	24.0	19.4	7.8	7.8	10.9	7.8	-	2.3	8.5
頻度	運動している	316	50.6	46.8	35.4	25.3	21.2	19.6	20.3	10.4	6.6	1.6	5.4
	運動していない	188	50.0	42.0	33.5	25.0	16.5	18.1	14.4	8.5	4.3	2.7	3.2

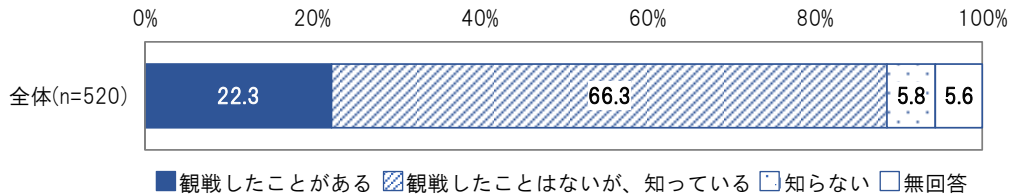
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※年代・運動・スポーツの好き嫌い・運動頻度ともに不明があるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

### (3) 地域にゆかりのあるプロスポーツチームの認知度

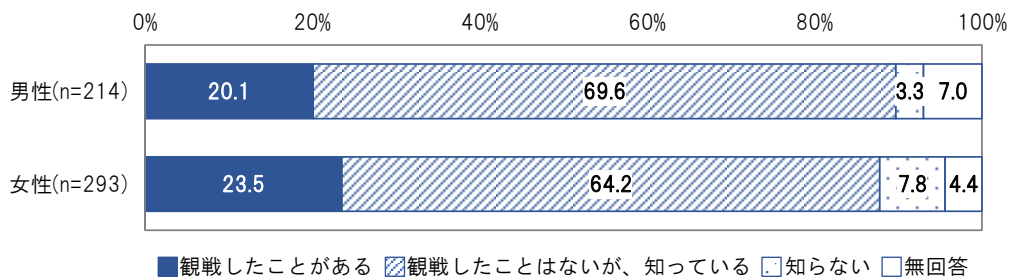
#### ① 京都サンガ F.C. (プロサッカー)

- ・ 京都サンガ F.C. の認知度については、「観戦したことはないが、知っている」が 66.3% と 6 割以上を占めて最も高く、「観戦したことがある」は 2 割程度 (22.3%) となっている。
- ・ 京都ハンナリーズ、京都フローラと比べると最も認知率や観戦率が高くなっている。



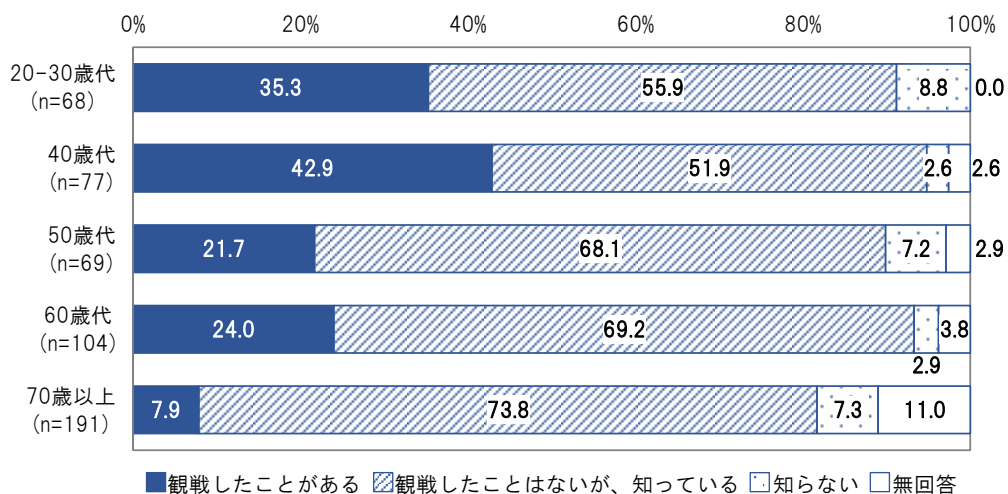
#### 《性別》

- ・ 性別にみると、「観戦したことがある」が男性に比べて女性でやや高くなっているものの、「知らない」が女性で 1 割近く (7.8%) を占めている。



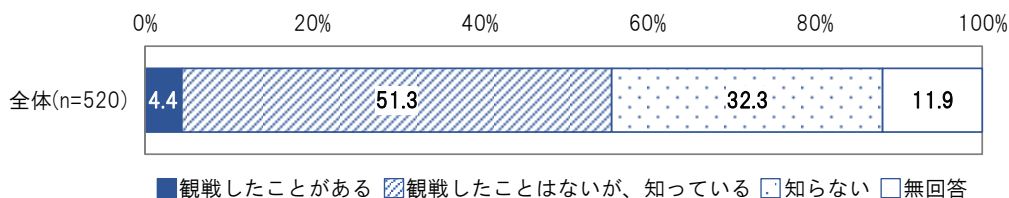
#### 《年代別》

- ・ 年代別にみると、「観戦したことがある」が 40 歳代で 42.9% と 4 割以上を占めて最も高く、次いで 20-30 歳代 (35.3%) の順となっている。一方で、50 歳以上では観戦率は 3 割未満となっており、特に 70 歳以上では 1 割未満 (7.9%) と低くなっている。



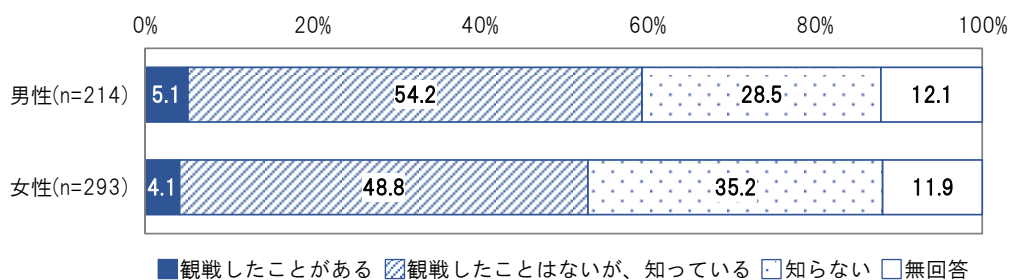
## ②京都ハンナリーズ（プロバスケットボール）

- 京都ハンナリーズの認知度については、「観戦したことはないが、知っている」が51.3%と半数以上を占めて最も高く、「観戦したことがある」は1割未満（4.4%）となっている。
- 「知らない」が32.3%と3割以上を占めている。



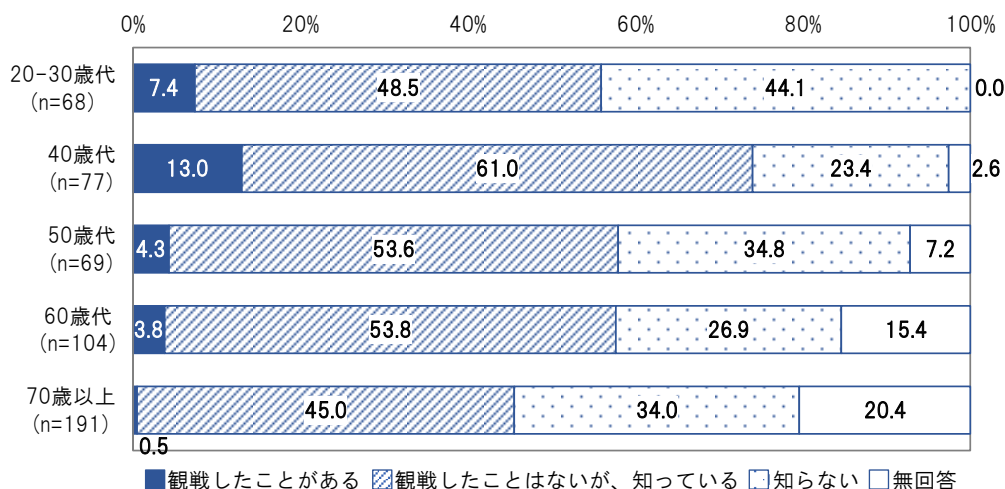
### 《性別》

- 性別にみると、「観戦したことがある」は男性・女性ともに1割未満となっており、大きな差異はみられない。
- 一方で、「知らない」が女性では35.2%と3割以上を占め、男性（28.5%）に比べてやや高くなっている。



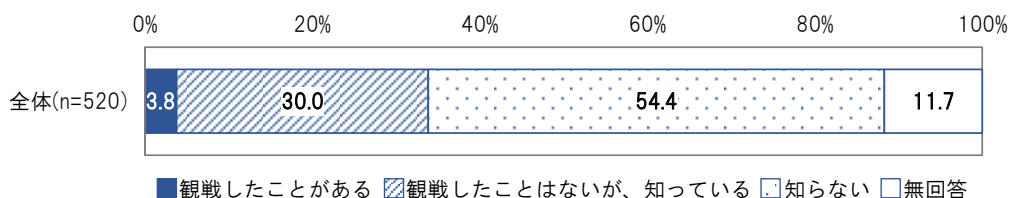
### 《年代別》

- 年代別にみると、「観戦したことがある」が40歳代で13.0%と1割以上を占め、その他の年代に比べてやや高くなっている。



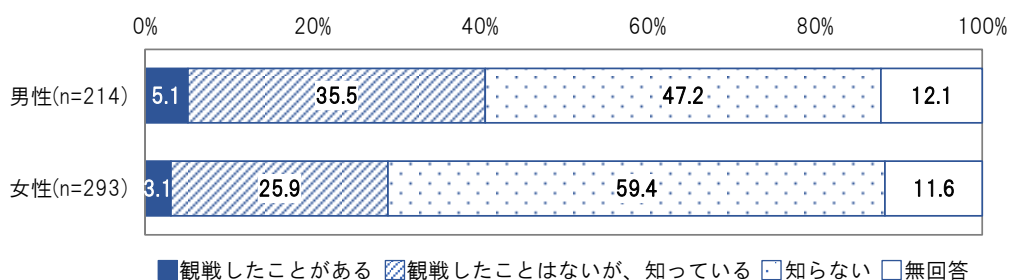
### ③京都フローラ（女子プロ野球）

- 京都フローラの認知度については、「知らない」が54.4%と半数以上を占めて最も高くなっており、「観戦したことがある」（3.8%）と「観戦したことはないが、知っている」（30.0%）を合わせた認知度は3割程度となっている。
- 京都サンガF.C.、京都ハンナリーズと比べると最も認知率や観戦率が低くなっている。



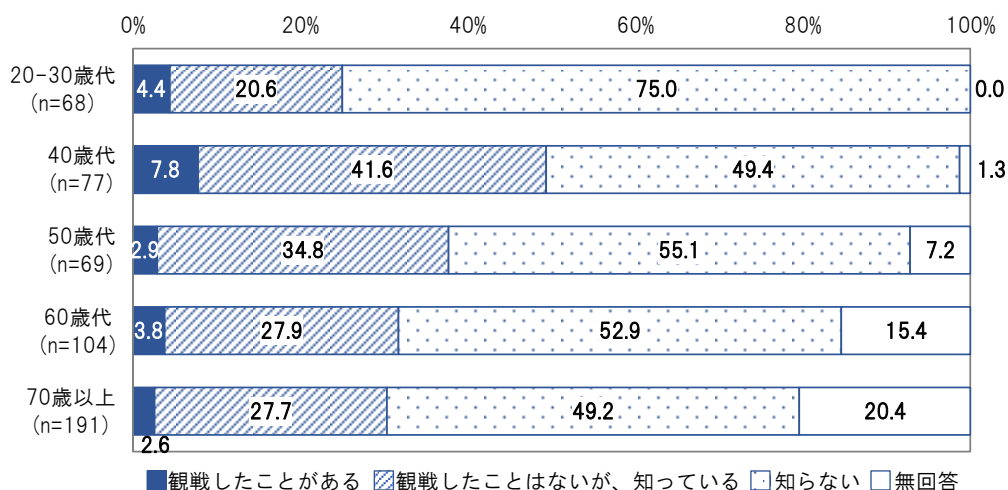
#### 《性別》

- 性別にみると、「観戦したことがある」は男性・女性ともに1割未満となっており、大きな差異はみられない。
- 一方で、「知らない」が女性では59.4%と約6割を占め、男性（47.2%）に比べて高くなっている。



#### 《年代別》

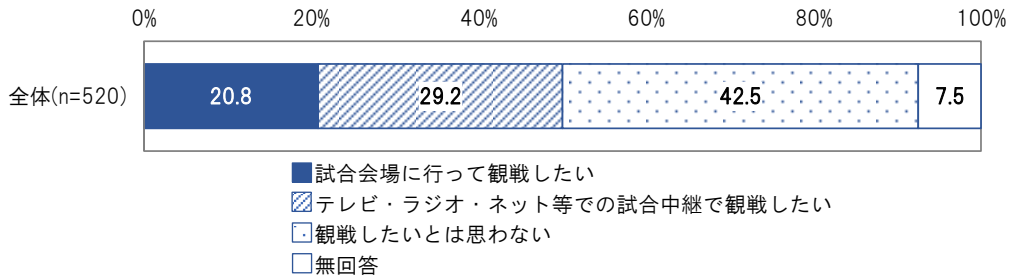
- 年代別にみると、「観戦したことがある」の割合が最も高い40歳代でも7.8%と1割未満となっており、「観戦したことはないが、知っている」と合わせた認知率は、40歳代で半数近くあるのに対し、20-30歳代では3割未満と低くなっている。



#### (4) 地域にゆかりのあるプロスポーツチームの今後の観戦意向

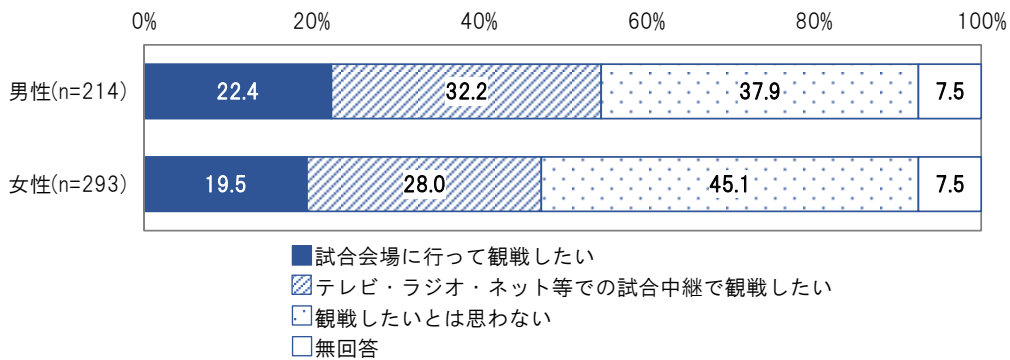
##### ① 京都サンガ F.C. (プロサッカー)

・京都サンガ F.C.の今後の観戦意向については、「観戦したいとは思わない」が42.5%と4割以上を占めて最も高くなっているものの、「試合会場に行って観戦したい」(20.8%)と「テレビ・ラジオ・ネット等での試合中継で観戦したい」(29.2%)を合わせると、『観戦したい』人が約半数を占めている。



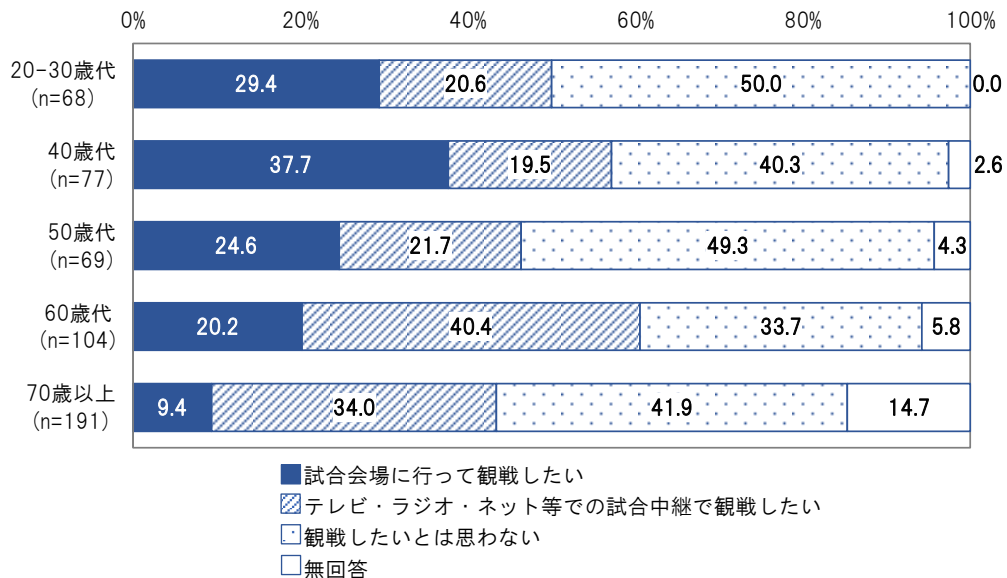
##### 《性別》

・性別にみると、『観戦したい』人が、男性では半数以上(54.6%)を占めるのに対し、女性では半数未満(47.5%)とやや低くなっている。



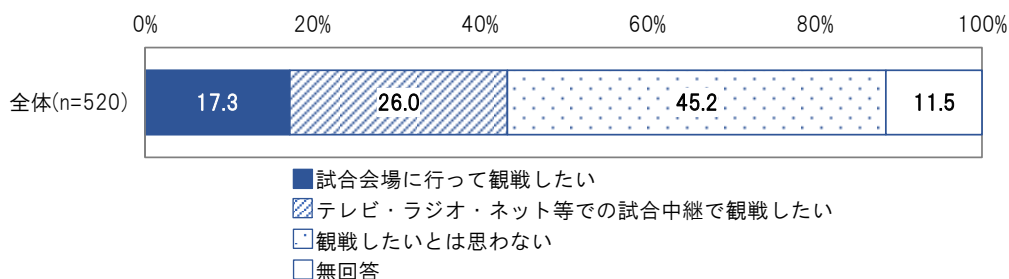
##### 《年代別》

・年代別にみると、「試合会場に行って観戦したい」が40歳代で37.7%と最も高く、「テレビ・ラジオ・ネット等での試合中継で観戦したい」では60歳代で40.4%と最も高くなっている。



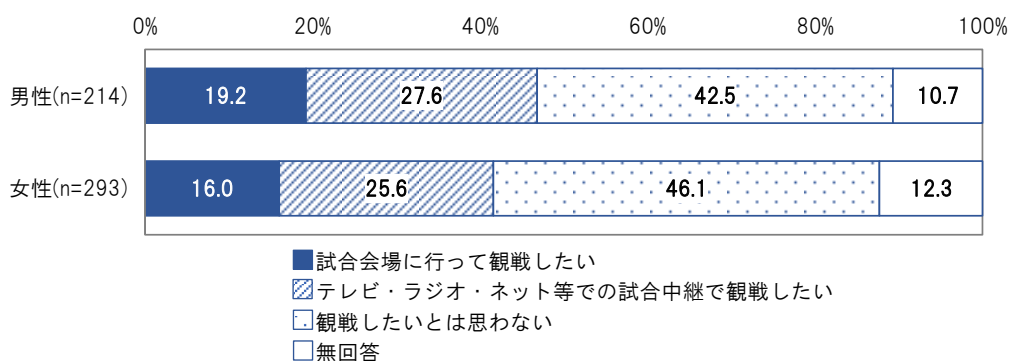
## ②京都ハンナリーズ（プロバスケットボール）

- 京都ハンナリーズの今後の観戦意向については、「観戦したいとは思わない」が45.2%と4割以上を占めて最も高くなっているものの、「試合会場に行って観戦したい」（17.3%）と「テレビ・ラジオ・ネット等での試合中継で観戦したい」（26.0%）を合わせると、『観戦したい』人が4割以上を占めている。



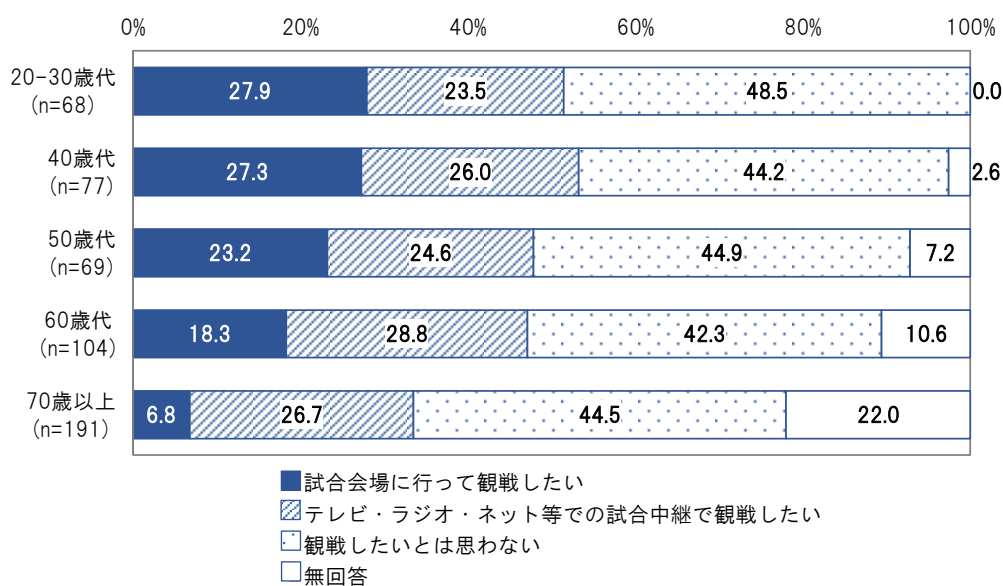
### 《性別》

- 性別にみると、『観戦したい』人が、男性では半数近く（46.8%）を占めるのに対し、女性では4割程度（41.6%）とやや低くなっている。



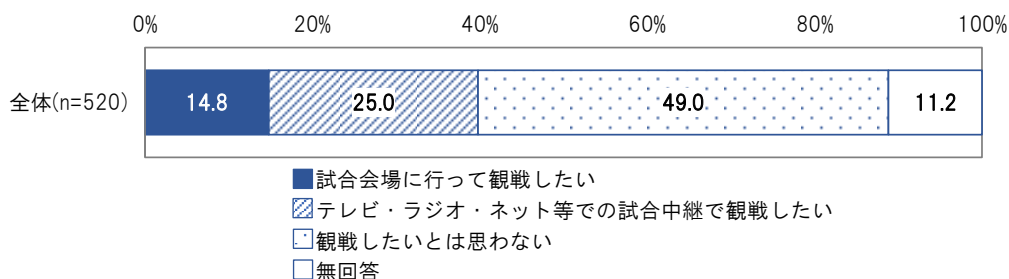
### 《年代別》

- 年代別にみると、年代が下がるほど「試合会場に行って観戦したい」が高くなる傾向がみられ、20-40歳代では3割近く、50歳代では2割以上を占めている。



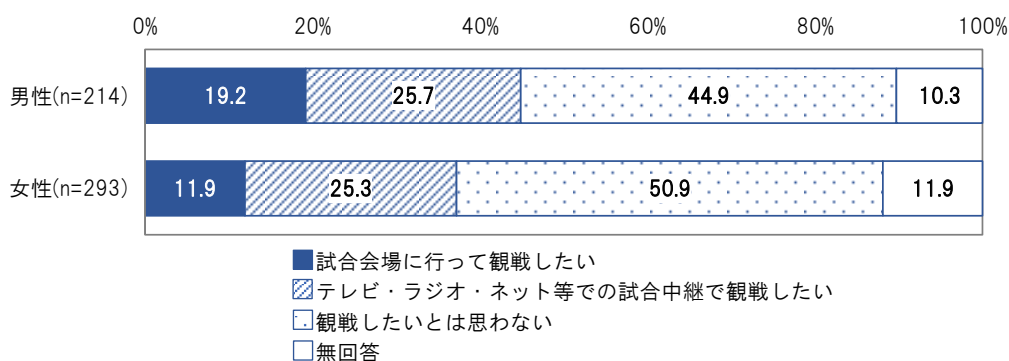
### ③京都フローラ（女子プロ野球）

- 京都フローラの今後の観戦意向については、「観戦したいとは思わない」が49.0%と約半数を占めて最も高くなっているものの、「試合会場に行って観戦したい」（14.8%）と「テレビ・ラジオ・ネット等での試合中継で観戦したい」（25.0%）を合わせると、『観戦したい』人が約4割を占めている。



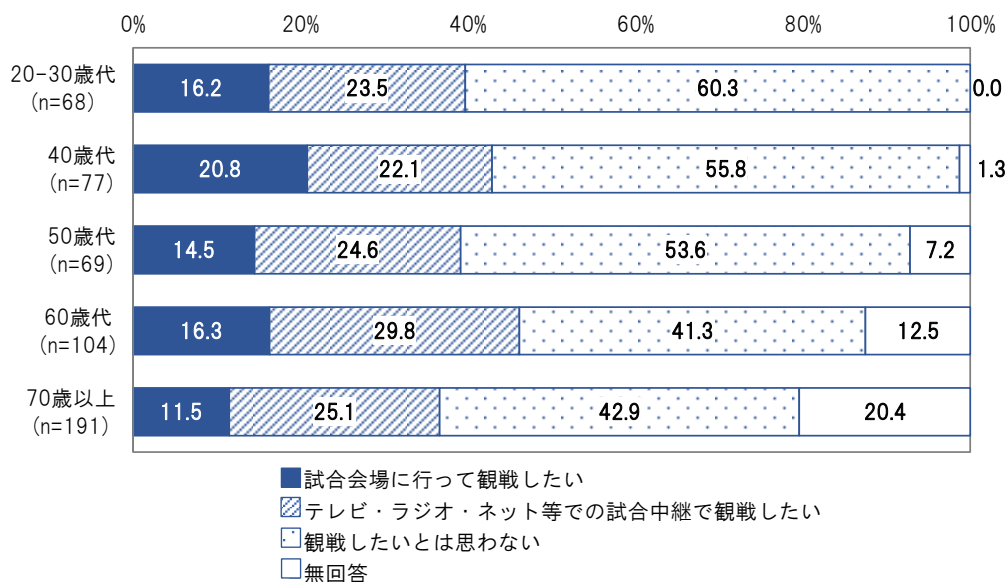
#### 《性別》

- 性別にみると、『観戦したい』人が、男性では4割以上（44.9%）を占めるのに対し、女性では4割未満（37.2%）とやや低くなっている。



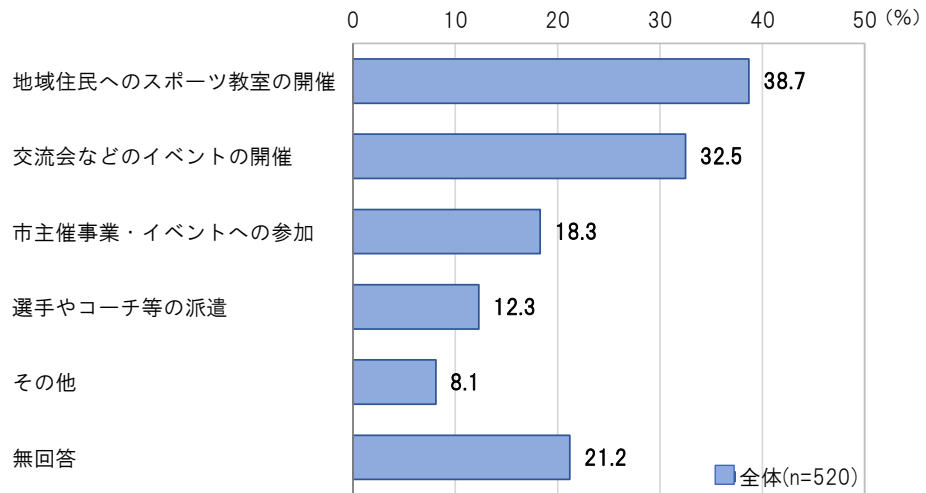
#### 《年代別》

- 年代別にみると、「試合会場に行って観戦したい」が40歳代で20.8%と最も高く、最も低い70歳以上でも11.5%と、すべての年代で1割以上となっており、年代による大きな差はみられない。



**(5) 地域にゆかりのあるプロスポーツチームに期待すること（複数回答）**

・地域にゆかりのあるプロスポーツチームに期待することについては、「地域住民へのスポーツ教室の開催」が 38.7%と4割近くを占めて最も高く、次いで「交流会などのイベントの開催」（32.5%）、「市主催事業・イベントへの参加」（18.3%）の順となっている。



**《性別／年代別》**

・性別にみると、大きな差異はみられない。  
 ・年代別にみると、20-30 歳代・50 歳代では「交流会などのイベントの開催」、その他の年代では「地域住民へのスポーツ教室の開催」が最も高くなっている。その他、40 歳代では「選手やコーチ等の派遣」、50-60 歳代では「市主催事業・イベントへの参加」が、その他の年代に比べてそれぞれ高くなっている。

		回答者数 (人)	地域住民へのスポーツ教室の開催	交流会などのイベントの開催	市主催事業・イベントへの参加	選手やコーチ等の派遣	その他	無回答
性別	男性	214	<b>38.8</b>	31.8	19.6	11.7	11.2	19.6
	女性	293	<b>38.9</b>	33.8	18.1	12.6	5.5	21.2
年代	20-30歳代	68	35.3	<b>38.2</b>	10.3	14.7	11.8	14.7
	40歳代	77	<b>50.6</b>	35.1	16.9	<b>37.7</b>	7.8	7.8
	50歳代	69	49.3	<b>50.7</b>	24.6	10.1	8.7	8.7
	60歳代	104	<b>40.4</b>	38.5	22.1	8.7	4.8	13.5
	70歳以上	191	<b>30.4</b>	20.4	18.3	3.7	8.4	36.1

※1 番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2 番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

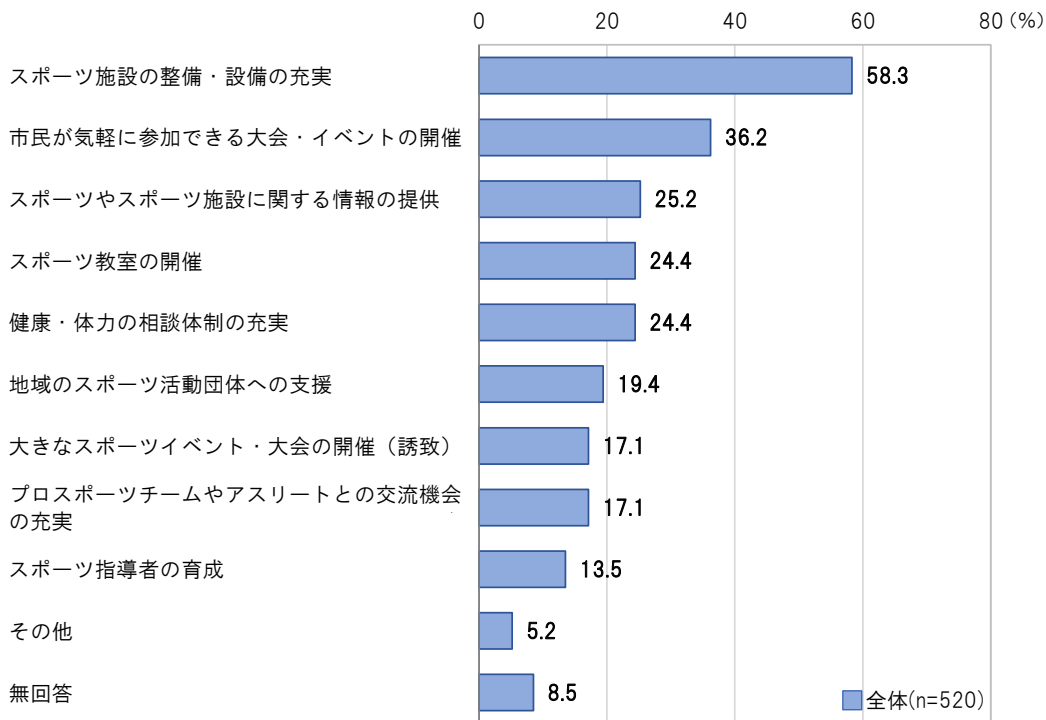
※性別・年代ともに不明があるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。



## 5. 宇治市の施策等について

### (1) 運動・スポーツの活動を活発にしていくために行政が取り組みを進めること（複数回答）

・運動・スポーツの活動を活発にしていくために行政が取り組みを進めることについては、「スポーツ施設の整備・設備の充実」が58.3%と6割近くを占めて最も高く、次いで「市民が気軽に参加できる大会・イベントの開催」(36.2%)、「スポーツやスポーツ施設に関する情報の提供」(25.2%)、「スポーツ教室の開催」及び「健康・体力の相談体制の充実」(24.4%)の順となっている。



### 《性別》

・性別にみると、男性では「市民が気軽に参加できる大会・イベントの開催」などで女性に比べて高く、女性では「スポーツ施設の整備・設備の充実」や「スポーツ教室の開催」などで男性に比べて高くなっている。

		回答者数 (人)	スポーツ施設の整備・設備の充実	市民が気軽に参加できる大会・イベントの開催	スポーツやスポーツ施設に関する情報の提供	スポーツ教室の開催	健康・体力の相談体制の充実	地域のスポーツ活動団体への支援	大きなスポーツイベント・大会の開催（誘致）	プロスポーツチームやアスリートとの交流機会の充実	スポーツ指導者の育成	その他
性別	男性	214	56.1	43.9	27.1	17.8	20.6	19.6	22.4	16.8	13.1	5.6
	女性	293	60.4	30.7	24.2	28.7	27.0	19.8	13.3	17.7	13.7	4.4

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※性別不明がいるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

《年代別／運動・スポーツの好き嫌い別／運動頻度別》

- 年代別にみると、40歳代では「プロスポーツチームやアスリートとの交流機会の充実」、20-40歳代では「スポーツやスポーツ施設に関する情報の提供」、50-60歳代では「健康・体力の相談体制の充実」などで、それぞれその他の年代に比べてやや高くなっている。
- 運動・スポーツの好き嫌い別にみると、運動好きな人では「スポーツやスポーツ施設に関する情報の提供」や「プロスポーツチームやアスリートとの交流機会の充実」、「大きなスポーツイベント・大会の開催（誘致）」などで運動嫌いな人に比べて高く、運動嫌いな人では「健康・体力の相談体制の充実」で運動好きな人に比べて高くなっている。
- 運動頻度別にみると、運動をしている人では「スポーツ施設の整備・設備の充実」や「健康・体力の相談体制の充実」などで運動をしていない人に比べてやや高く、運動をしていない人では「スポーツ教室の開催」で運動をしている人に比べてやや高くなっている。

(%)

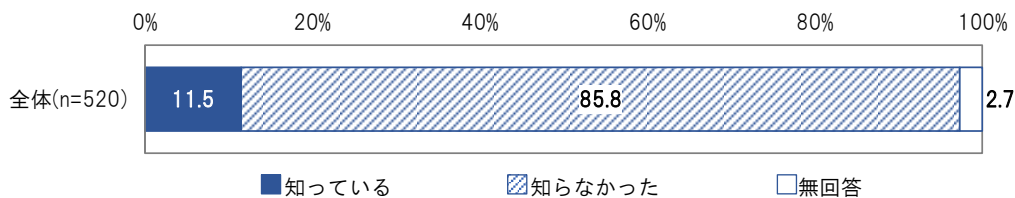
		回答者数（人）	スポーツ施設の整備・設備の充実	市民が気軽に参加できる大会・イベントの開催	スポーツやスポーツ施設に関する情報の提供	スポーツ教室の開催	健康・体力の相談体制の充実	地域のスポーツ活動団体への支援	大きなスポーツイベント・大会の開催（誘致）	プロスポーツチームやアスリートとの交流機会の充実	スポーツ指導者の育成	その他
年代	20-30歳代	68	75.0	39.7	29.4	19.1	13.2	17.6	23.5	25.0	10.3	5.9
	40歳代	77	64.9	37.7	29.9	27.3	22.1	22.1	24.7	33.8	14.3	6.5
	50歳代	69	53.6	40.6	20.3	26.1	29.0	18.8	23.2	24.6	15.9	4.3
	60歳代	104	63.5	36.5	25.0	23.1	30.8	13.5	13.5	16.3	11.5	6.7
	70歳以上	191	49.2	32.5	24.1	24.1	23.6	23.0	11.5	5.8	14.1	3.7
好き嫌い	運動好き	384	61.2	37.2	26.6	25.3	21.1	20.6	19.5	19.8	14.1	4.2
	運動嫌い	129	50.4	32.6	19.4	20.9	32.6	15.5	10.1	10.1	10.9	7.0
頻度	運動している	316	62.7	38.3	25.3	23.7	26.6	20.9	19.3	16.1	13.6	4.1
	運動していない	188	51.6	34.6	25.5	26.1	21.3	17.6	13.8	19.7	14.4	6.9

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

※年代・運動スポーツの好き嫌い・運動頻度ともに不明があるため、それぞれの回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

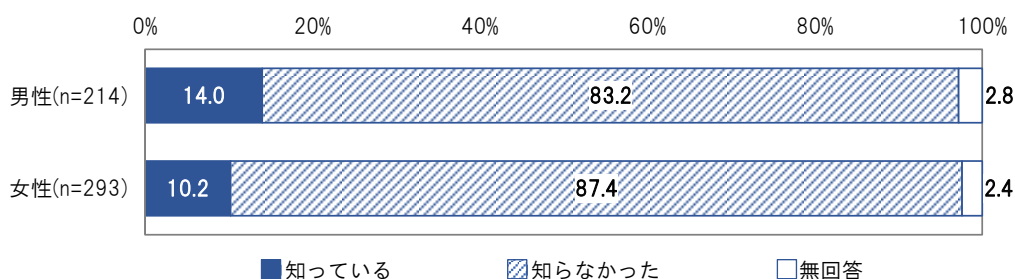
## (2) 「ワールドマスターゲームズ 2021 関西」開催に関する認知度

- 「ワールドマスターゲームズ 2021 関西」開催に関する認知度については、「知らなかった」が85.8%と8割を超え、「知っている」は1割程度（11.5%）となっている。



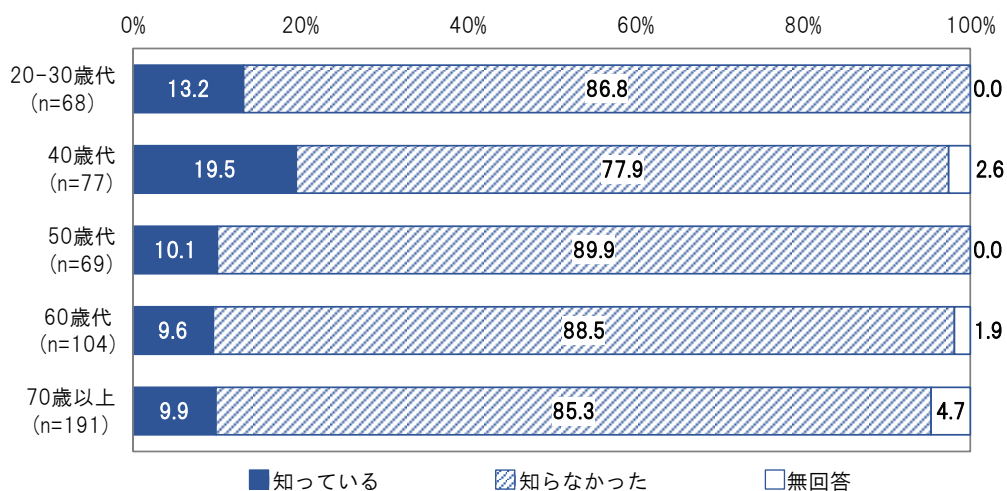
### 《性別》

- 性別にみると、「知っている」が女性に比べて男性でやや高くなっている。



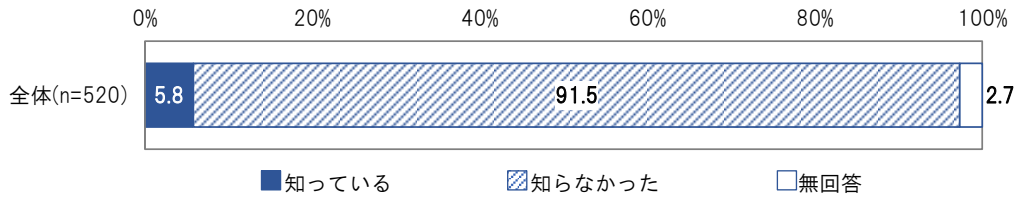
### 《年代別》

- 年代別にみると、「知っている」が40歳代で19.5%と約2割を占めて最も高く、次いで20-30歳代（13.2%）の順となっている。一方で、50歳以上では認知率は1割程度となっている。



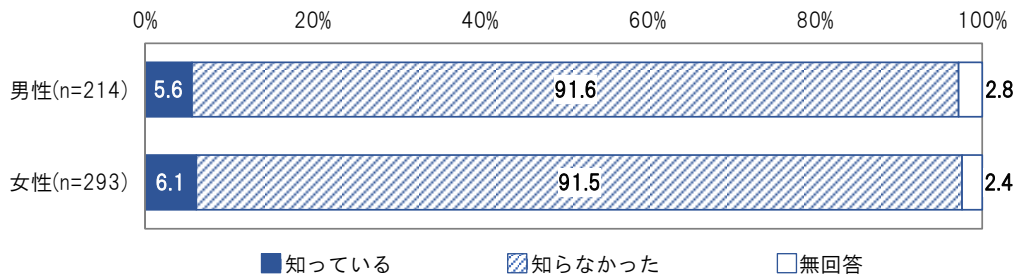
### (3) 宇治市がフライングディスク（アルティメット）の開催地となっていることの認知度

- 宇治市がフライングディスク(アルティメット)の開催地となっていることの認知度については、「知らなかった」が91.5%と9割を超え、「知っている」は1割未満（5.8%）となっている。



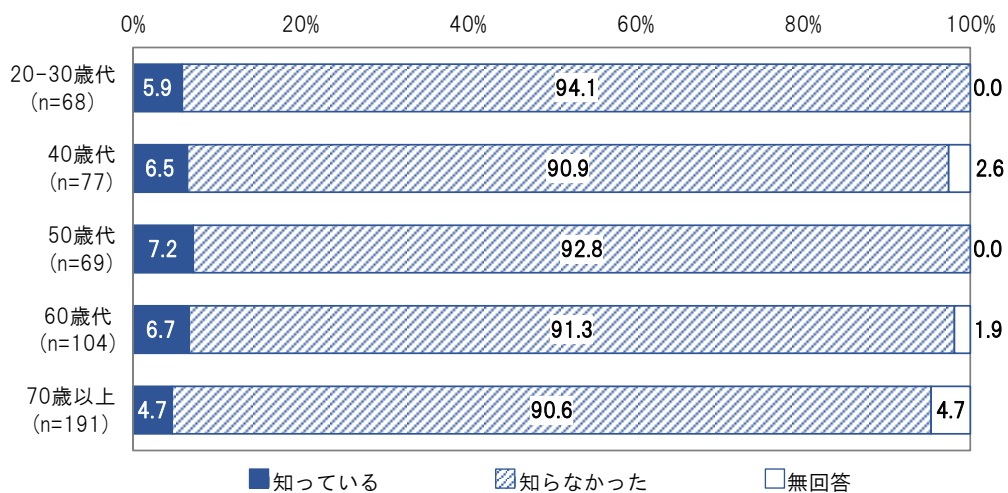
#### 《性別》

- 性別にみると、男性・女性ともに「知らなかった」が9割以上を占め、性別による大きな差異はみられない。



#### 《年代別》

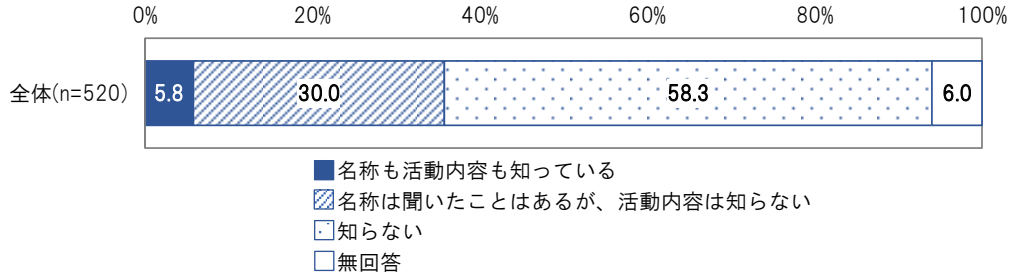
- 年代別にみると、すべての年代で「知っている」が1割未満となっており、年代別による大きな差異はみられない。



#### (4) 運動・スポーツに関する各種団体の認知度

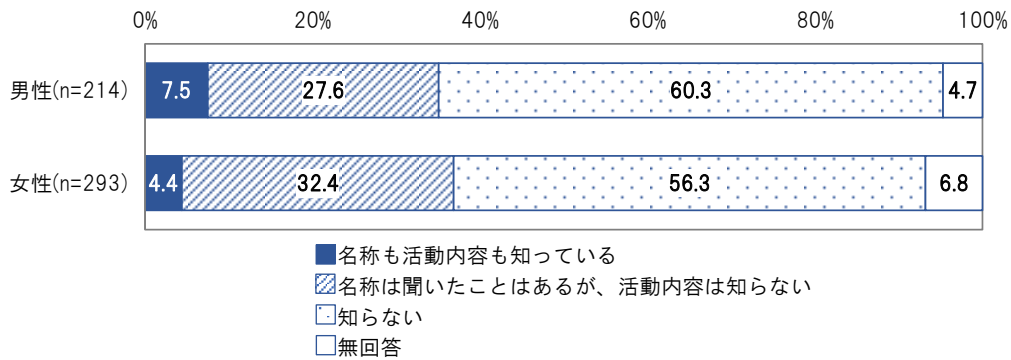
##### ①スポーツ協会

- ・スポーツ協会の認知度については、「知らない」が58.3%と6割近くを占めて最も高くなっており、「名称も活動内容も知っている」(5.8%)と「名称は聞いたことはあるが、活動内容は知らない」(30.0%)を合わせた認知度は4割未満となっている。



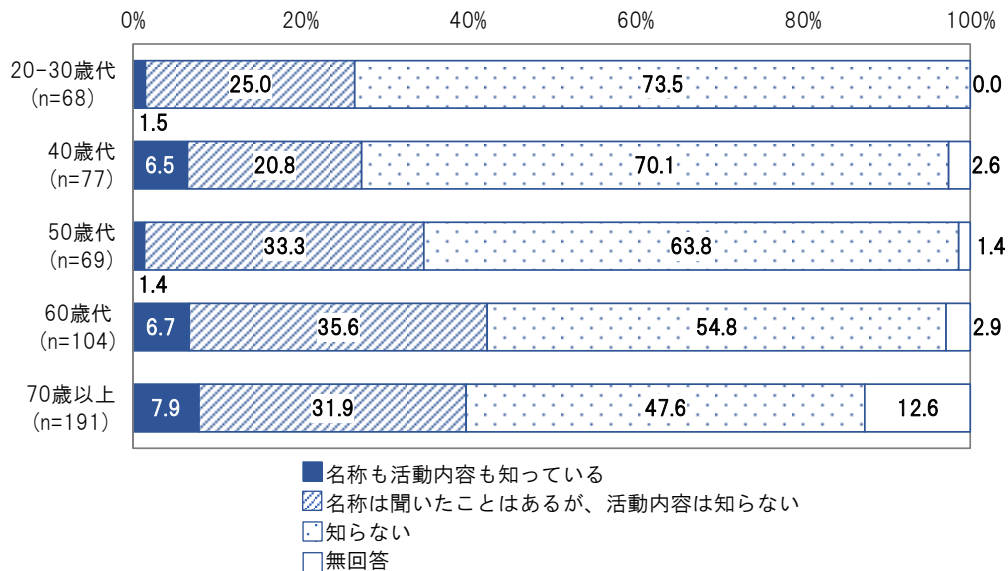
##### 《性別》

- ・性別にみると、「名称も活動内容も知っている」が、女性に比べて男性でやや高くなっているものの、大きな差異はみられない。



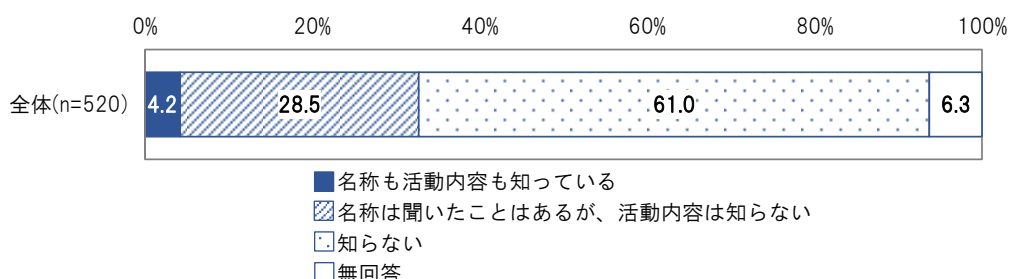
##### 《年代別》

- ・年代別にみると、「名称も活動内容も知っている」と「名称は聞いたことはあるが、活動内容は知らない」を合わせた認知度は、概ね年代が上がるにつれて高くなっており、20-40歳代では3割未満となっているのに対し、60歳以上では4割程度とやや高くなっている。



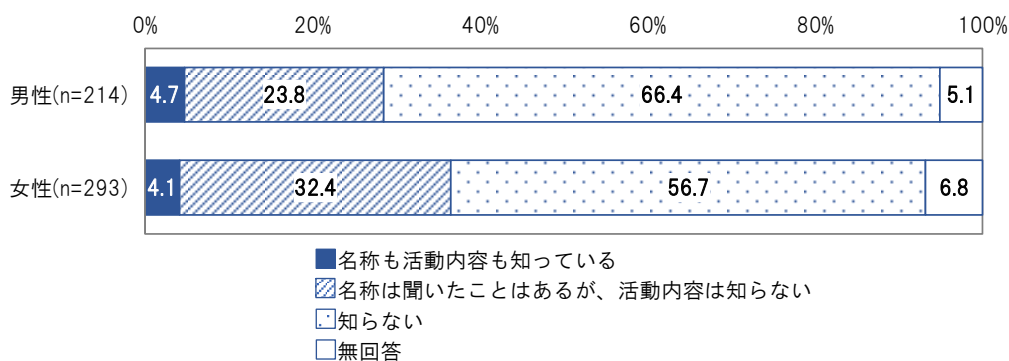
## ②スポーツ推進委員

- スポーツ推進委員の認知度については、「知らない」が61.0%と6割以上を占めて最も高くなっており、「名称も活動内容も知っている」(4.2%)と「名称は聞いたことはあるが、活動内容は知らない」(28.5%)を合わせた認知度は3割程度となっている。



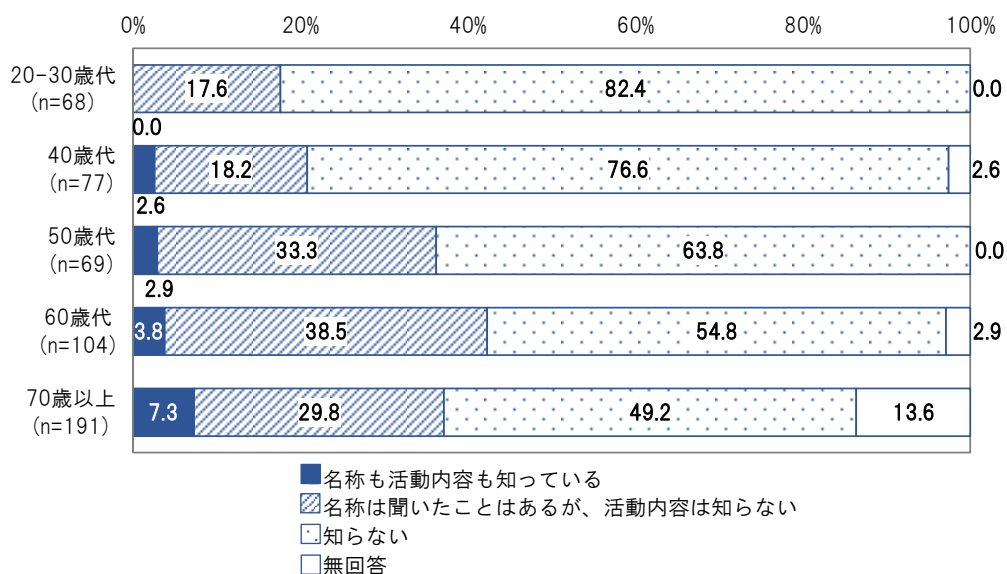
### 《性別》

- 性別にみると、女性では「名称は聞いたことはあるが、活動内容は知らない」が、男性に比べて高くなっており、名称の認知率としては女性が高い結果となっている。



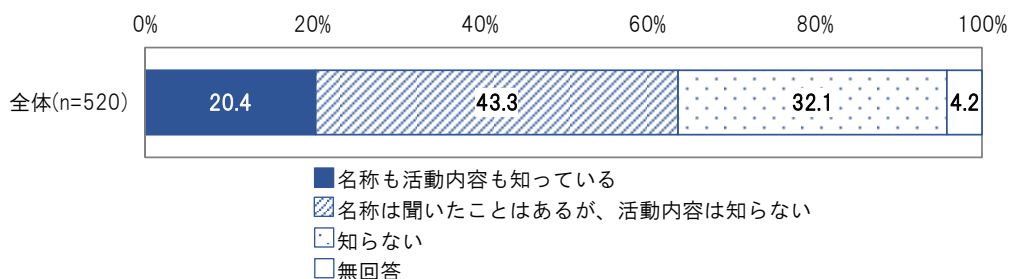
### 《年代別》

- 年代別にみると、「名称も活動内容も知っている」と「名称は聞いたことはあるが、活動内容は知らない」を合わせた認知度は、概ね年代が上がるにつれて高くなっており、20-30歳代では2割未満となっているのに対し、60歳代では4割以上となっている。



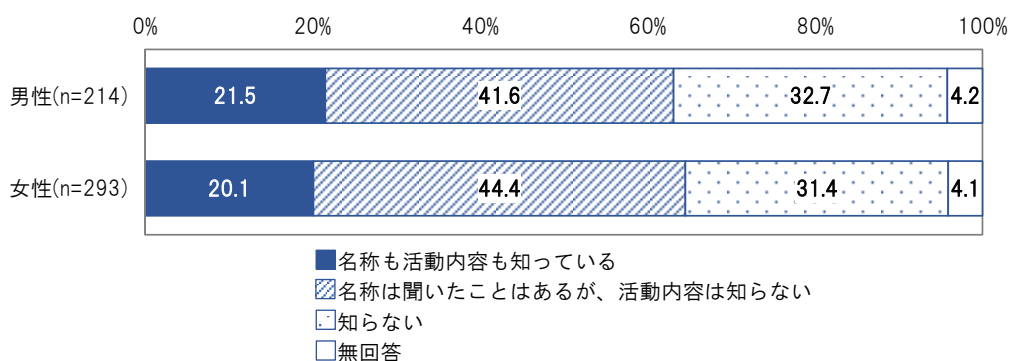
### ③ 体育振興会

- 体育振興会の認知度については、「名称は聞いたことはあるが、活動内容は知らない」が43.3%と4割以上を占めて最も高く、「名称も活動内容も知っている」(20.4%)と合わせた認知度は6割以上となっている。
- スポーツ協会、スポーツ推進委員と比べると最も認知率が高くなっている。



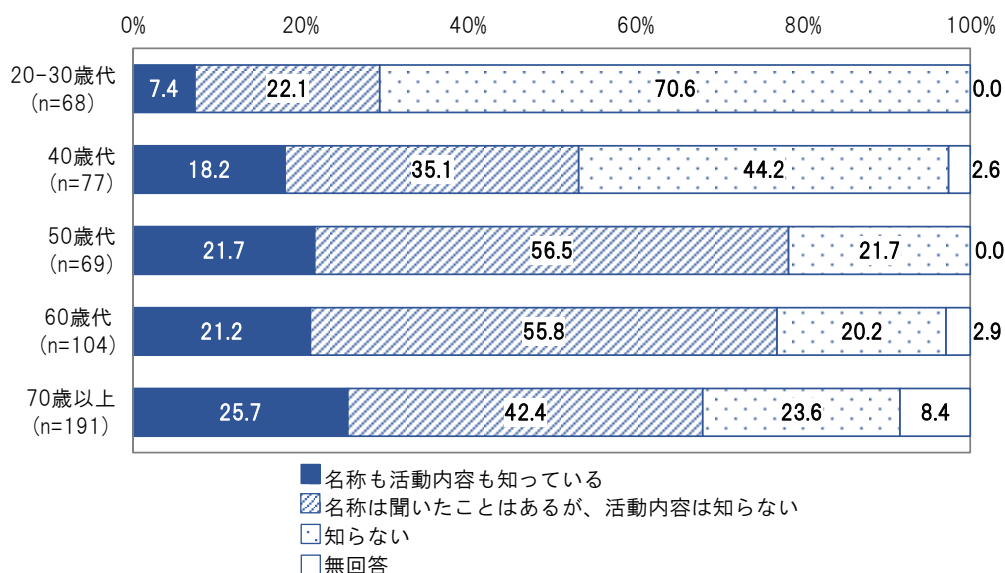
#### 《性別》

- 性別にみると、「名称も活動内容も知っている」が、女性に比べて男性でやや高くなっているものの、大きな差異はみられない。



#### 《年代別》

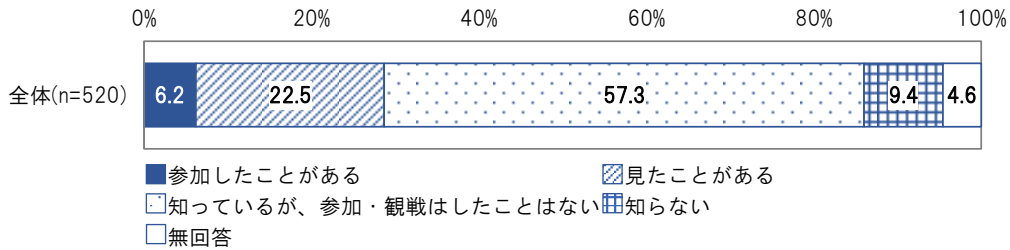
- 年代別にみると、年代が上がるにつれて「名称も活動内容も知っている」の割合が高くなる傾向がみられる。「名称は聞いたことはあるが、活動内容は知らない」と合わせた認知度では、50-60歳代では8割近い認知率となっている。



## (5) 宇治市主催・共催の運動・スポーツ事業の参加・観戦状況

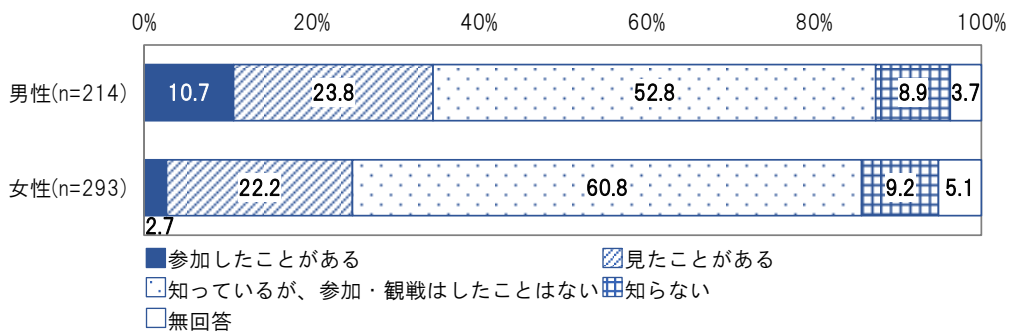
### ① 宇治川マラソン大会

- 宇治川マラソン大会の参加・観戦状況については、「知っているが、参加・観戦はしたことはない」が57.3%と6割近くを占めて最も高くなっており、「参加したことがある」(6.2%)と「見たことがある」(22.5%)を合わせた参画率は3割未満となっている。



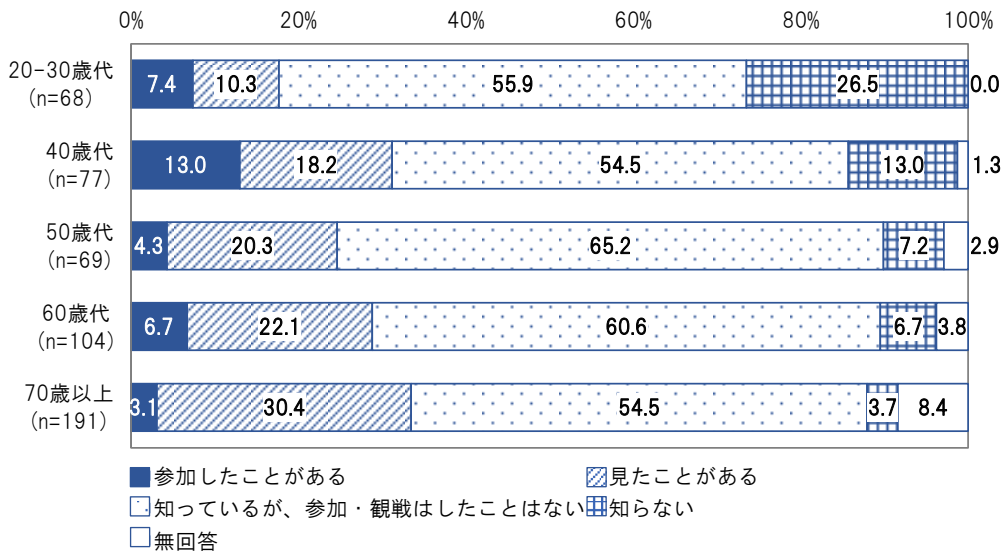
### 《性別》

- 性別にみると、「参加したことがある」と「見たことがある」を合わせた参画率は、男性では3割以上(34.5%)となっているのに対し、女性では3割未満(24.9%)と低くなっている。



### 《年代別》

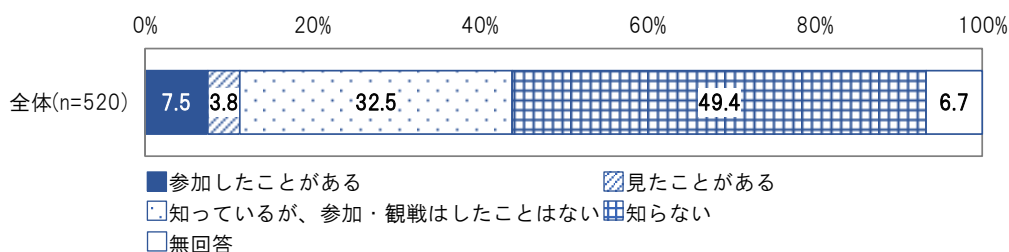
- 年代別にみると、「参加したことがある」と「見たことがある」を合わせた参画率は、40歳代と70歳以上で3割を超えてその他の年代に比べてやや高くなっている。
- 一方で、年代が下がるにつれて「知らない」の割合が高くなる傾向がみられ、20-30歳代では26.5%と3割近くを占めている。





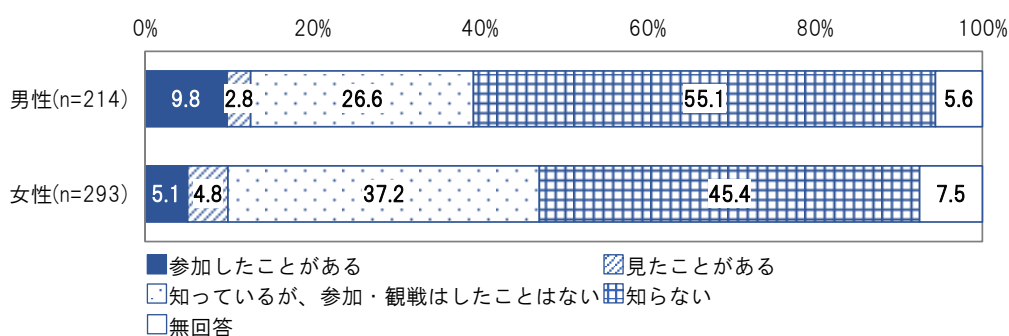
## ②市民スポーツまつり

- 市民スポーツまつりの参加・観戦状況については、「知らない」が49.4%と約半数を占めて最も高く、次いで「知っているが、参加・観戦はしたことはない」(32.5%)となっている。
- 「参加したことがある」(7.5%)と「見たことがある」(3.8%)を合わせた参画率は1割程度となっている。



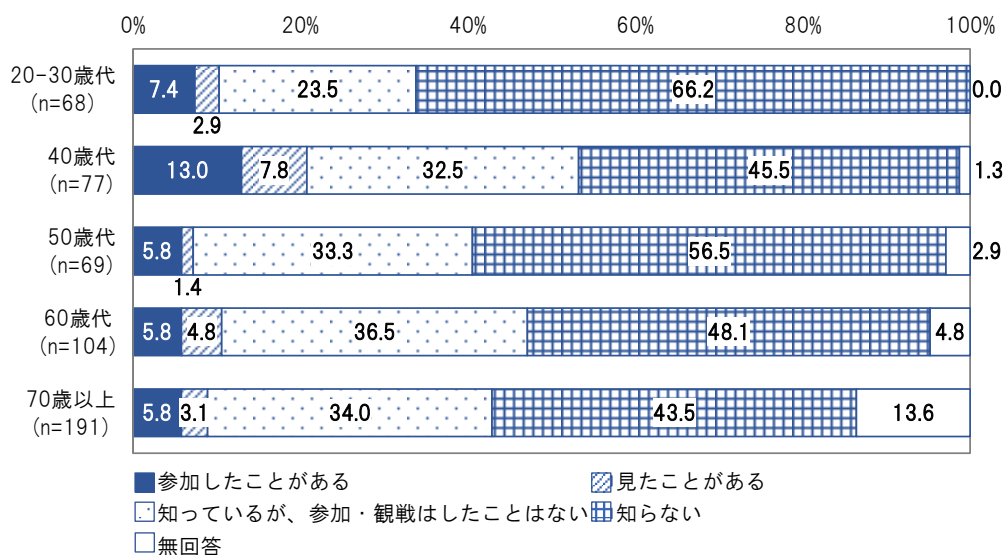
### 《性別》

- 性別にみると、「参加したことがある」と「見たことがある」を合わせた参画率は、女性に比べて男性でやや高くなっている。一方で、「知らない」が男性では55.1%と半数以上を占めており、女性に比べて高くなっている。



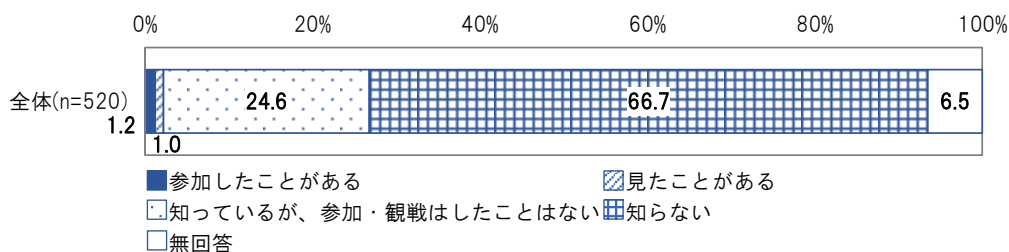
### 《年代別》

- 年代別にみると、「参加したことがある」と「見たことがある」を合わせた参画率は、40歳代で2割を超えてその他の年代に比べてやや高くなっている。
- 一方で、概ね年代が下がるにつれて「知らない」の割合が高くなる傾向がみられ、20-30歳代では66.2%と7割近くを占めている。



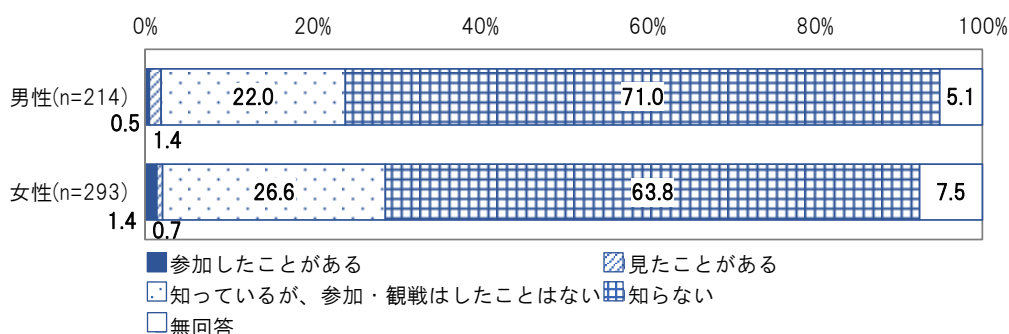
### ③市民ファミリーバドミントン大会

- 市民ファミリーバドミントン大会の参加・観戦状況については、「知らない」が66.7%と7割近くを占めて最も高く、次いで「知っているが、参加・観戦はしたことはない」(24.6%)となっている。



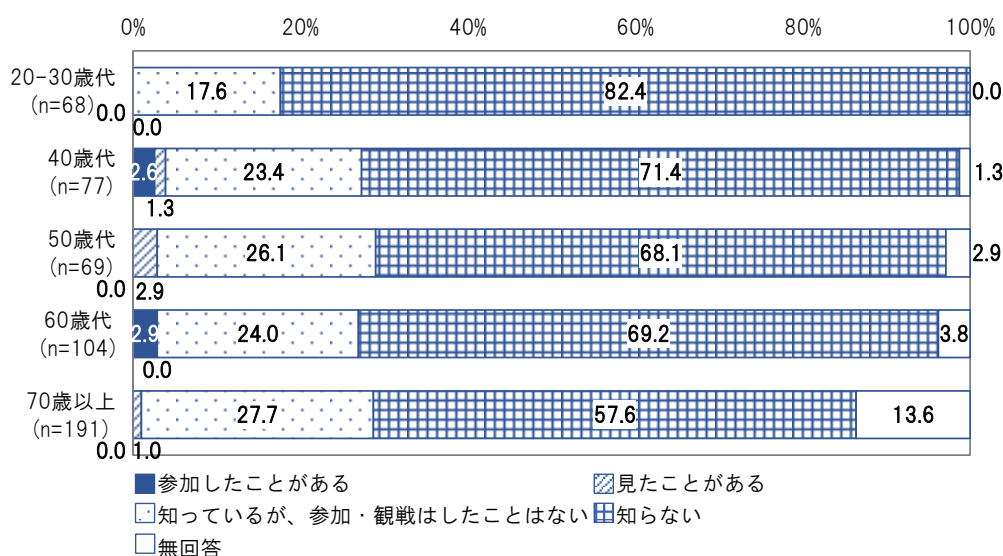
#### 《性別》

- 性別にみると、「知らない」が男性では71.0%と7割以上を占めており、女性に比べてやや高くなっている。



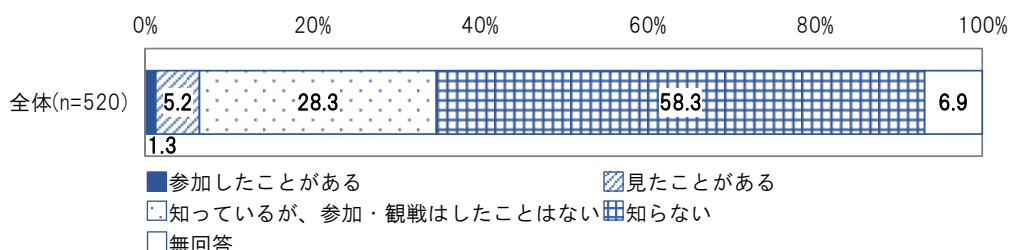
#### 《年代別》

- 年代別にみると、概ね年代が下がるにつれて「知らない」の割合が高くなる傾向がみられ、20-30歳代では82.4%と8割以上を占めている。



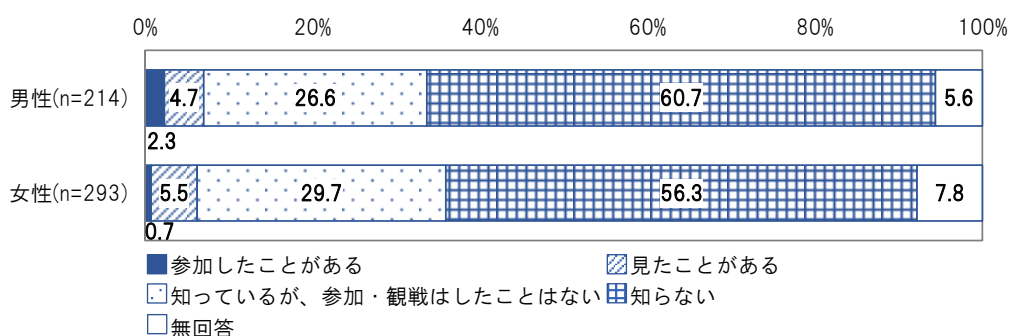
#### ④市民駅伝競走大会

- 市民駅伝競走大会の参加・観戦状況については、「知らない」が58.3%と6割近くを占めて最も高く、次いで「知っているが、参加・観戦はしたことはない」(28.3%)となっている。
- 「参加したことがある」(1.3%)と「見たことがある」(5.2%)を合わせた参画率は1割未満となっている。



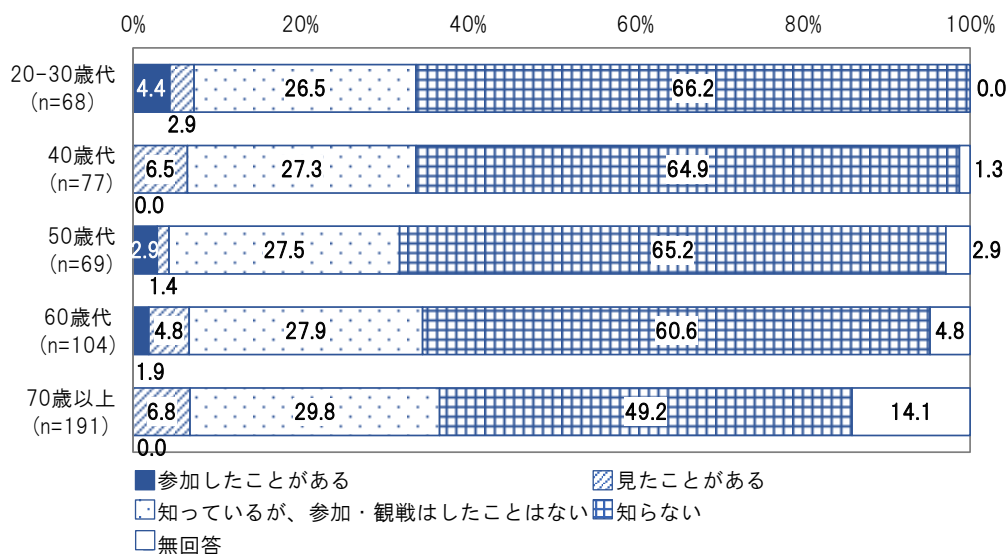
#### 《性別》

- 性別にみると、「知らない」が男性では60.7%と約6割を占めており、女性に比べて高くなっているものの、性別による大きな差異はみられない。



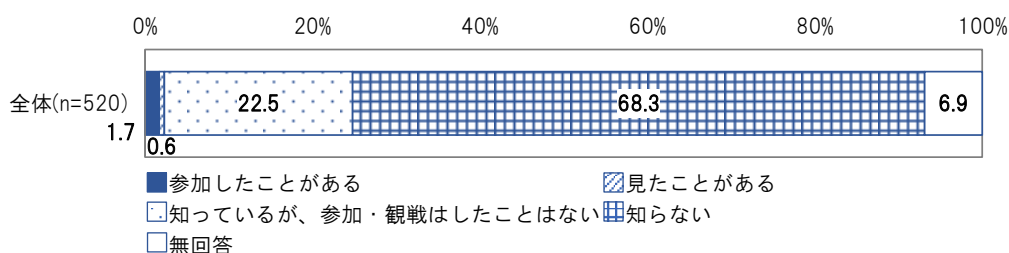
#### 《年代別》

- 年代別にみると、「参加したことがある」と「見たことがある」を合わせた参画率は、すべての年代で1割未満となっており、年代による大きな差異はみられない。
- 一方で、概ね年代が下がるにつれて「知らない」の割合が高くなる傾向がみられる。



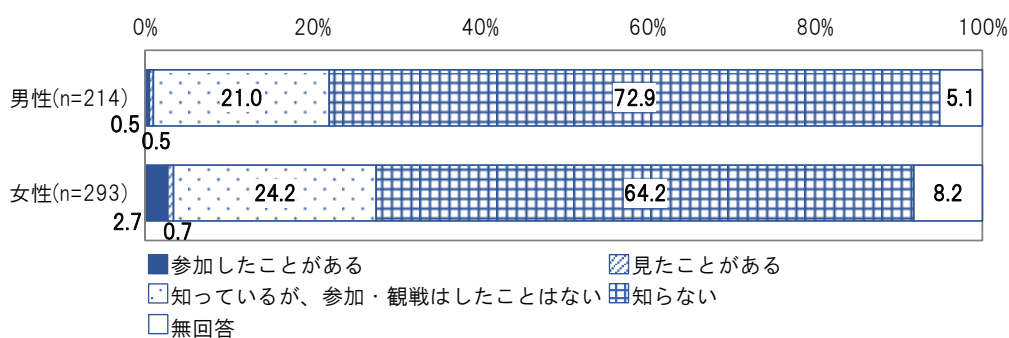
### ⑤宇治市障害者スポーツ大会

- 宇治市障害者スポーツ大会の参加・観戦状況については、「知らない」が68.3%と7割近くを占めて最も高く、次いで「知っているが、参加・観戦はしたことはない」(22.5%)となっている。



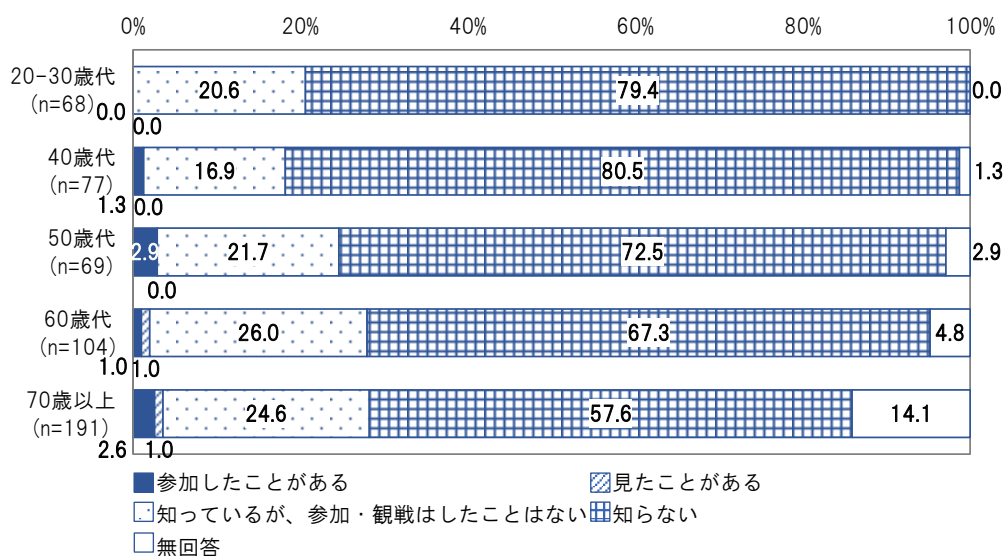
#### 《性別》

- 性別にみると、「知らない」が男性では72.9%と7割以上を占めており、女性に比べてやや高くなっている。



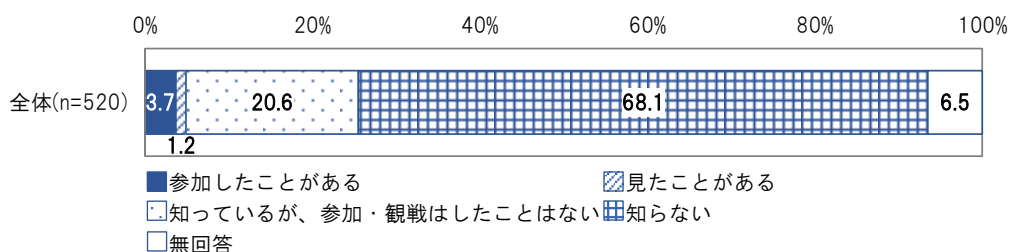
#### 《年代別》

- 年代別にみると、概ね年代が下がるにつれて「知らない」の割合が高くなる傾向がみられ、20-40歳代ではともに約8割を占めている。



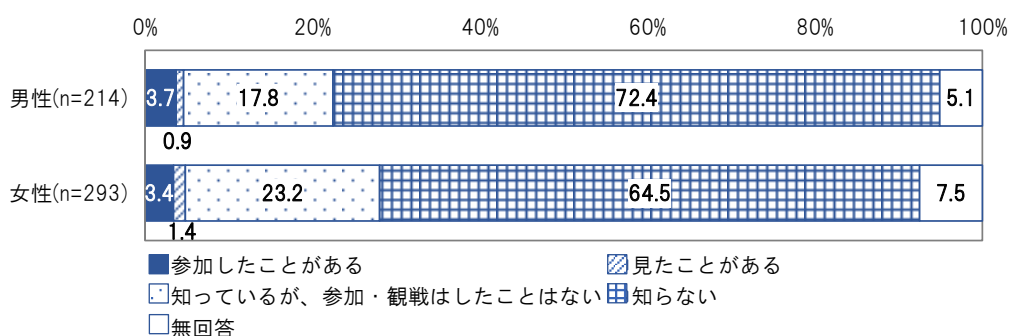
## ⑥ニューススポーツひろば

- ・ニューススポーツひろばの参加・観戦状況については、「知らない」が68.1%と7割近くを占めて最も高く、次いで「知っているが、参加・観戦はしたことはない」(20.6%)となっている。
- ・「参加したことがある」(3.7%)と「見たことがある」(1.2%)を合わせた参画率は1割未満となっている。



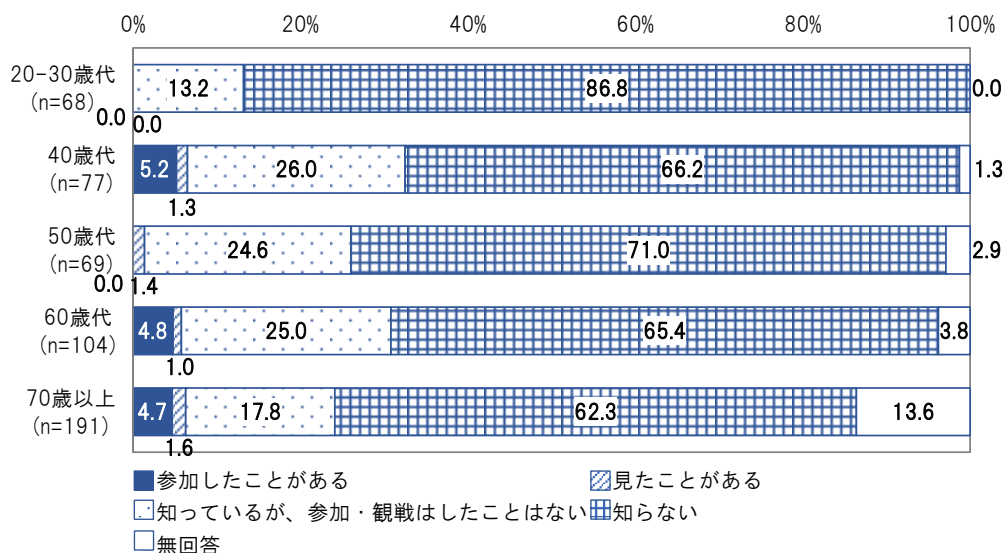
### 《性別》

- ・性別にみると、「知らない」が男性では72.4%と7割以上を占めており、女性に比べて高くなっているものの、性別による大きな差異はみられない。



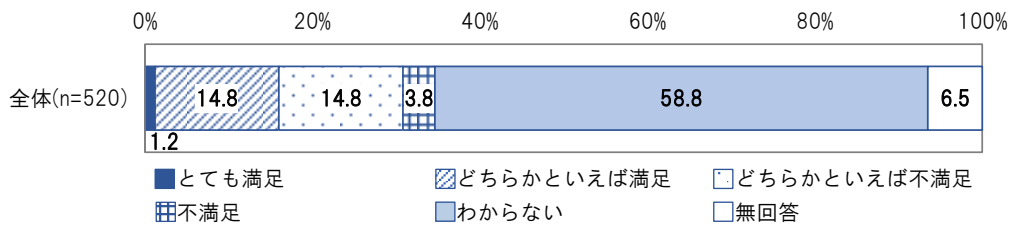
### 《年代別》

- ・年代別にみると、「参加したことがある」と「見たことがある」を合わせた参画率は、すべての年代で1割未満となっている。
- ・一方で、概ね年代が下がるにつれて「知らない」の割合が高くなる傾向がみられ、20-30歳代では86.8%と8割以上を占めている。



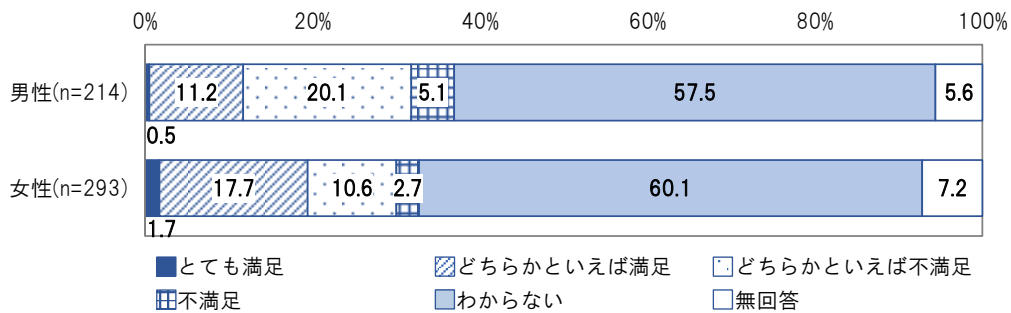
## (6) 宇治市のスポーツ推進・振興のための施策・取り組みの満足度

- 宇治市のスポーツ推進・振興のための施策・取り組みの満足度については、「わからない」が58.8%と6割近くを占めて最も高くなっている。
- 「とても満足」(1.2%)と「どちらかといえば満足」(14.8%)を合わせた『満足』は16.0%と、「どちらかといえば不満足」(14.8%)と「不満足」(3.8%)を合わせた『不満足』(18.6%)をやや下回る結果となっている。



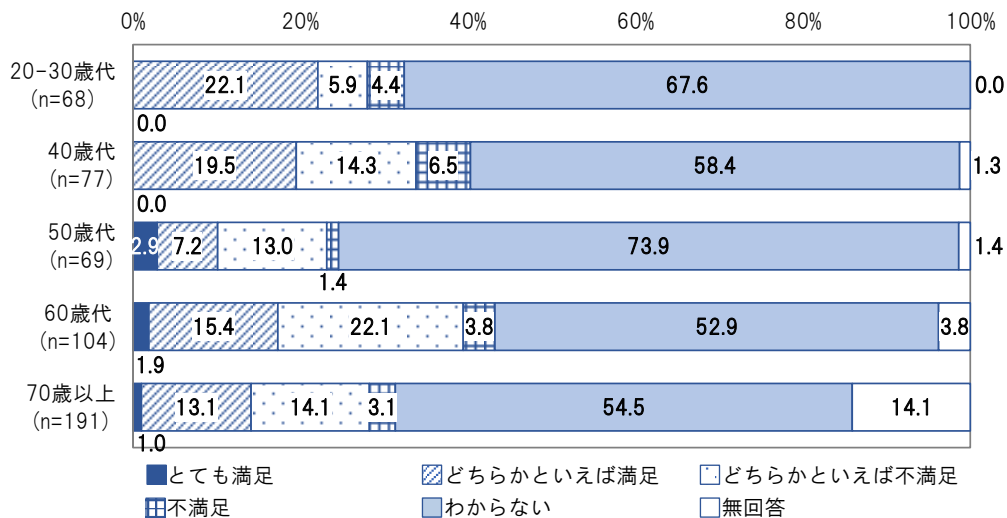
### 《性別》

- 性別にみると、女性では『満足』が『不満足』を上回っているのに対し、男性では『不満足』が『満足』を上回る結果となっている。



### 《年代別》

- 年代別にみると、20-30歳代では『満足』が『不満足』を上回っているのに対し、40歳以上では『不満足』が『満足』を上回る結果となっている。特に、60歳代ではその差が10ポイント近くとなっている。

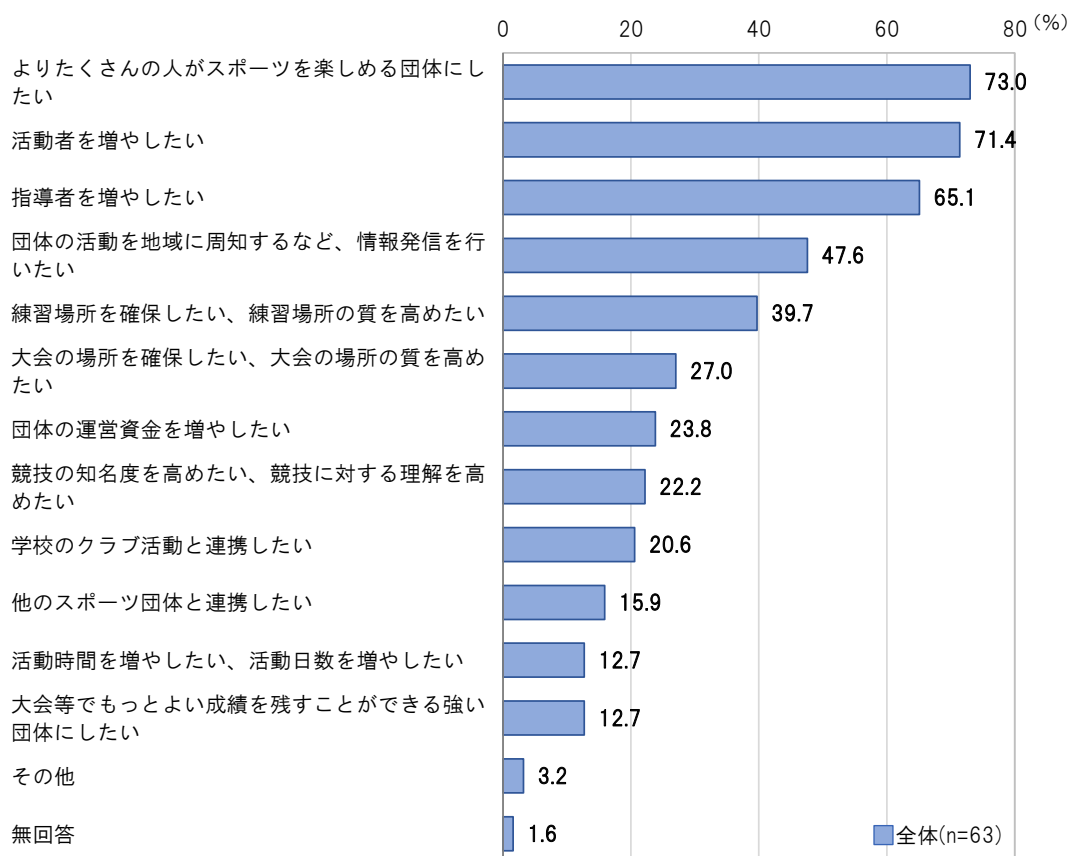


### Ⅲ 関係団体等アンケート調査結果

#### 1. 団体の運営・活動の現状について

##### (1) 団体の運営・活動についての今後の意向

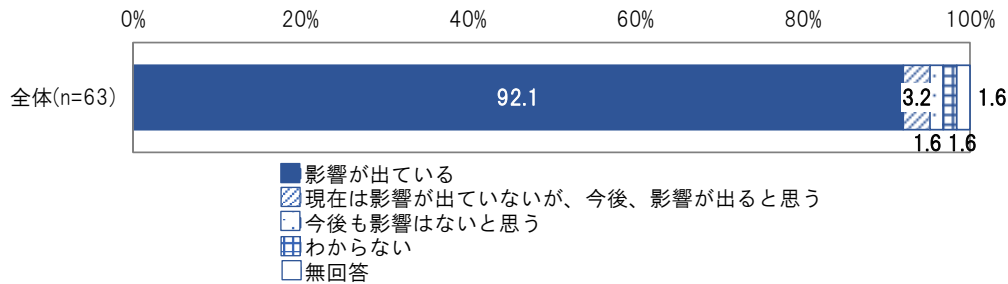
・団体の運営・活動についての今後の意向については、「よりたくさんの方がスポーツを楽しめる団体にしたい」(73.0%)と「活動者を増やしたい」(71.4%)がともに7割以上を占めて高く、次いで「指導者を増やしたい」(65.1%)、「団体の活動を地域に周知するなど、情報発信を行いたい」(47.6%)、「練習場所を確保したい、練習場所の質を高めたい」(39.7%)の順となっている。



## 2. 新型コロナウイルス感染症の影響について

### (1) 新型コロナウイルス感染症の団体の活動に対する影響

- ・新型コロナウイルス感染症の団体の活動に対する影響については、「影響が出ている」が92.1%と大半を占めている。



### (2) 新型コロナウイルス感染症により活動に出ている影響の内容

- ・具体的に影響の出ている内容については、「活動自体の自粛・中止」、「活動場所・時間・人数の縮小」、「大会やイベント等の中止・縮小」、「活動縮小に伴う退会者の増加」、「防止対策（消毒液など）に対する経費の増加」、「手間の増加」などの意見が多くみられた。
- ・詳細な意見については、以下の通り。

- ・学校のグラウンド使用ができなかったことで活動ができなかった。
- ・各種大会での無観客、入場制限。遠征等の中止。
- ・練習や大会ができていない。
- ・三密回避による感染防止を行うため、中止 or 縮小せざるを得なくなった。
- ・練習の定員も通常の半数になっている。
- ・緊急事態宣言解除後に、特に高齢者で退会する人、休会する人がみられる。
- ・練習、場所、時間の制限を受けた。
- ・指導するのにもソーシャルでは難しいこともある。
- ・公共の施設が使用中止になり、大会も中止になるなど活動の機会が減少した。
- ・各種大会、交流の機会の中止。
- ・練習ができないことにより練習生の退会が数名あった。
- ・試合の中止、練習時間の短縮、マスク着用での練習のため本格的な練習がやりにくい。
- ・コロナを心配する団員（保護者）の休会。
- ・中止になってより内向きになっている。
- ・防止対策としての経費増額（消毒液など）。
- ・緊急事態宣言等の発出や感染拡大状況により参加できない、見合わせる状態が続き、参加者の退会等が多くみられた。
- ・試合などの減少、稽古場所の確保。
- ・会場の使用制限による日程の遅れが出ている。
- ・競技への興味が薄れていく子どもたちが出てくる。
- ・マスク着用等、感染対策に気をつけるあまり今までのような活動が制限される。
- ・学校（部活動）や高齢者の運動教室の活動制限。
- ・体育館が休館になったため活動ができなかった。
- ・日常の練習時を含め感染防止の対策の徹底と継続。
- ・体温測定や消毒の手間の増加。
- ・他チームの人たちとの試合形式の交流会が、密集をさけるためにできなくなった。
- ・子ども達のモチベーション・体力などの低下。
- ・各種大会の延期や規模縮小や中止。
- ・団員減少とスタッフのモチベーション低下。

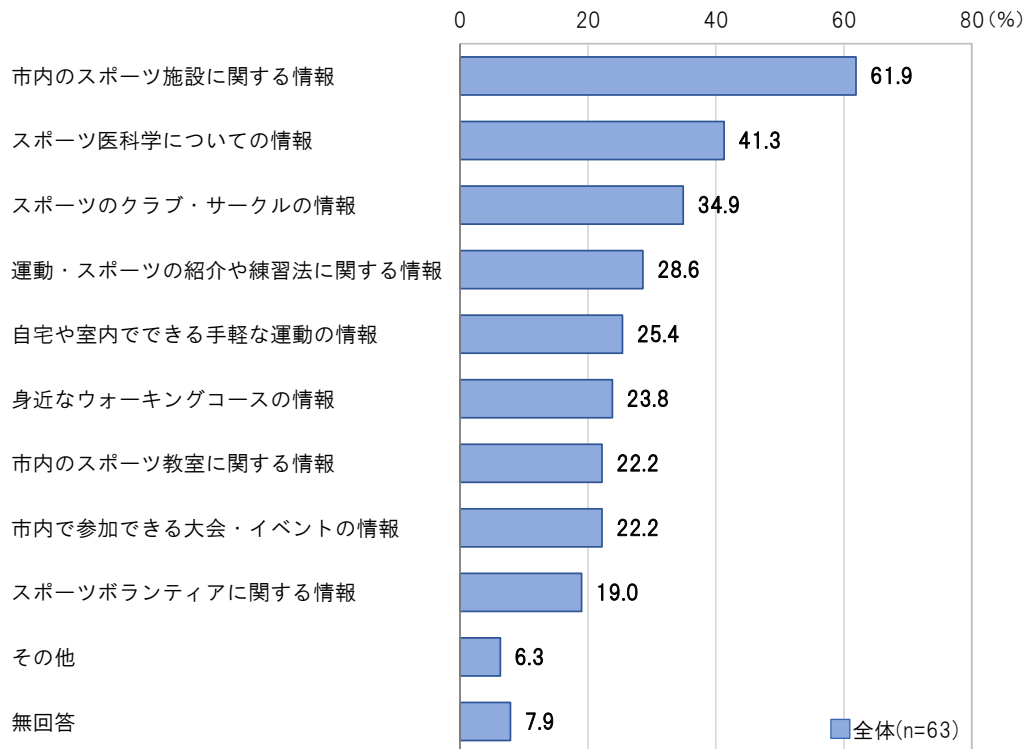
など



### 3. 宇治市の施策等について

#### (1) 運動・スポーツに関してあれば良いと思う情報（複数回答）

・運動・スポーツに関してあれば良いと思う情報については、「市内のスポーツ施設に関する情報」が61.9%と6割以上を占めて最も高く、次いで「スポーツ医科学についての情報」（41.3%）、「スポーツのクラブ・サークルの情報」（34.9%）、「運動・スポーツの紹介や練習法に関する情報」（28.6%）の順となっている。



## IV 資料編（調査票）

### 1. 市民アンケート調査

宇治市の取り組みに「あなたの声」を聞かせてください

## 宇治市スポーツ推進計画改定のためのアンケート調査

～ 調査へのご協力をお願い ～

市民の皆様には、日頃より、市政にご理解とご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

宇治市では、「スポーツが育むふるさと宇治の魅力と未来」の実現を目標に、「宇治市スポーツ推進計画」による取組を進めてきました。

この調査は、「宇治市スポーツ推進計画」の改定のため、市民の皆様から運動・スポーツに対するご意見をお伺いするものです。

いただいた内容は、宇治市スポーツ推進計画の改定をはじめ、今後のスポーツ施策の検討等のために活用させていただきます。

ご多忙のところ大変恐れ入りますが、なにとぞ協力いただきますようお願い申し上げます。

令和3年7月

宇治市長 松村 淳子

### 【アンケートご記入にあたってのお願い】

- 結果については、統計的に集計し、個人の考えが公表されることはありません。
- 回答が「その他」の場合または意見の記入を求める場合は、カッコ内・欄内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- ご記入いただきましたアンケートは、**8月2日（月）まで**に、同封しております返信用封筒（切手を貼る必要はありません。）にて返送してください。

本調査はウェブでの回答が可能です。  
(ウェブ回答にご協力をお願いいたします。)



- ① ウェブブラウザのURL欄に、下記URLを入力してください。  
URL : <https://www.city.uji.kyoto.jp/site/sportsjigyoku/41310.html>
- ② スマートフォンで回答される場合は、右記のQRコードを読み取り、アクセスしてください。

<本調査に対するお問い合わせ先>

宇治市役所 産業地域振興部 文化スポーツ課  
電話：0774-20-8759 / F A X : 0774-21-0408  
E-mail : bunkasportska@city.uji.kyoto.jp

## 運動・スポーツの実施状況についておたずねします

【問1】あなたは運動・スポーツで体を動かすことは好きですか (○は1つ)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 好き         | 2. どちらかといえば好き |
| 3. どちらかといえば嫌い | 4. 嫌い         |

【問2】あなたは、運動・スポーツをどれぐらいの頻度で行いましたか。

コロナ前の1年間（2019年3月～2020年2月頃まで）とコロナ後（2020年3月以降）で、それぞれ1つだけ○をしてください。

運動には、散歩やキャッチボール、日常生活に組み入れた運動（一駅歩き、エレベーターに乗らず階段使用、テレビを見ながら足踏み等の「ながら運動」等）も含まれます。

		回答欄に○印を	
		コロナ前 (～2020年2月)	コロナ後 (2020年3月～)
1. 毎日			
2. 週に3日以上			
3. 週に1～2日			
4. 月に数日			
5. ほとんどしていない	⇒コロナ前後ともに、「5」・ 「6」を選択された方は回答 欄に○をした上で【問8】へ		
6. まったくしていない			

【問3】新型コロナウイルス感染症によるご自身の運動・スポーツ習慣の変化はありましたか。 (○はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1. 実施する運動・スポーツの種目が変わった<br>2. 自宅や自宅周辺で身近な運動・スポーツを行うことが増えた<br>3. 運動・スポーツに関する動画を見る機会が増えた<br>4. それまで実施していたスポーツ・運動を止めてしまった<br>5. スポーツや運動を意識的に行うようになった<br>6. 特に変化はなかった<br>7. その他（具体的に： _____ ) |
|--|

**【問4】** どのような運動・スポーツをしましたか。コロナ前の1年間（2019年3月～2020年2月頃まで）とコロナ後（2020年3月以降）で、それぞれあてはまるものすべてに○をしてください。

	回答欄に○印を	
	コロナ前 (～2020年2月)	コロナ後 (2020年3月～)
1. 歩く、走るなど (散歩、一駅歩き、ウォーキング、ジョギング等)		
2. 体操、ダンスなど (ラジオ体操、美容体操、エアロビクス、ヨガ、縄跳び等)		
3. 球技、チームスポーツなど (野球、キャッチボール、サッカー、バレーボール等)		
4. 武道、格闘技など (柔道、空手道等)		
5. 筋トレなど (トレーニング機器・器具を使ってする運動等)		
6. ニュースポーツ (グラウンド・ゴルフ、ファミリーバドミントン等)		
7. その他《コロナ前》( )		
その他《コロナ後》( )		

**【問5】** どこで運動・スポーツをしましたか。コロナ前の1年間（2019年3月～2020年2月頃まで）とコロナ後（2020年3月以降）で、それぞれあてはまるものすべてに○をしてください。

	回答欄に○印を	
	コロナ前 (～2020年2月)	コロナ後 (2020年3月～)
1. 自宅や自宅周辺		
2. 道路や遊歩道		
3. 広場や公園		
4. 学校のグラウンドや体育館		
5. 公共のスポーツ施設		
6. 民間のスポーツ施設		
7. 個人の教室や道場		
8. 山・川・海		
9. その他《コロナ前》( )		
その他《コロナ後》( )		

**【問6】** どのような形で運動・スポーツを実施しましたか。コロナ前の1年間（2019年3月～2020年2月頃まで）とコロナ後（2020年3月以降）で、それぞれあてはまるものすべてに○をしてください。

	回答欄に○印を	
	コロナ前 (～2020年2月)	コロナ後 (2020年3月～)
1. 職場や学校等のクラブ・チームや同好会に所属して		
2. フィットネスクラブ等の民間のスポーツクラブで		
3. 個人で自由に		
4. 友人や家族と一緒に		
5. 地域や職場のイベントで		
6. その他《コロナ前》( )		
その他《コロナ後》( )		

**【問7】** 運動・スポーツをするのはどのような理由からですか。(○はいくつでも)

1. 健康・体力づくり（ダイエットを含む）のため
2. ストレス解消や気晴らしのため
3. 自己の記録や能力を向上させるため
4. 友人・家族・地域等との交流のため
5. 運動・スポーツをする場が近くにあったから
6. 試合や大会があったから
7. その他（具体的に： )

※問7の回答後は、問9へお進みください。

**【問8】** 問2でコロナ前後ともに「5. ほとんどしていない」「6. まったくしていない」を選択された方にお聞きします。

あなたは今後、どのようなきっかけ・チャンスがあれば運動・スポーツをしたと思いますか。(○はいくつでも)

1. 身近に運動できる場
2. 豊富なメニューのスポーツ教室
3. 地域のスポーツイベント
4. スポーツクラブや運動サークル等からの勧誘
5. 家族や友人からの誘い
6. 健康づくりやスポーツの情報が提供されれば
7. その他（具体的に： )

## スポーツに関するボランティア活動についておたずねします

【問9】運動・スポーツに関するボランティア活動（スポーツの指導や運動会の手伝いなど）をしたことはありますか。（○は1つ）

1. 現在も活動している ⇒【問10】へ
2. 現在は活動していないが、過去に活動したことがある ⇒【問10】へ
3. 活動したことはない ⇒【問12】へ

【問10】ボランティア活動を行ったことがある方にお聞きします。

どのようなボランティア活動を行いましたか。（○はいくつでも）

1. クラブや同好会での活動（スポーツの指導、審判、団体・クラブの運営や世話等）
2. 地域のイベント（町内、学区、地域の運動会等のスポーツイベントの運営や手伝い等）
3. 全国・国際的イベント（全国・国際的な大会等のスポーツイベントの運営や手伝い等）
4. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

【問11】ボランティア活動を行ったことがある方にお聞きします。

あなたがボランティア活動を始めたきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

1. 好きなスポーツに関わりたかったから
2. 自分の技術、能力、経験を生かしたかったから
3. 友人や仲間をつくりたかったから
4. 地域や地元のつながりを持ちたかったから
5. 社会のために何か役立ちたかったから
6. 余暇を有意義に過ごしたかったから
7. 人から依頼された・勧められたから
8. 活動に参加すると多少の謝礼や特典が得られたから
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

【問12】今後、スポーツに関わるボランティア活動をしたいと思いませんか。

（○は1つ）

1. 活動したい
2. 条件が合えば、活動したい
3. 活動したくない

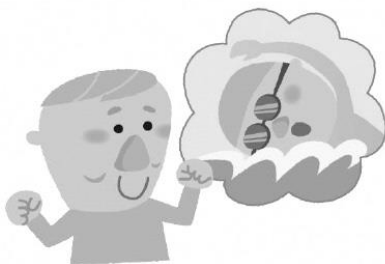
**【問13】** ボランティア活動への参加が増えていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。 (○はいくつでも)

1. 日常生活の中で無理なく活動できること
2. 特別な知識や技能がなくても活動できること
3. 一緒に参加する仲間がいること
4. 個人でも気軽に参加できること
5. ボランティア活動に関する情報の提供があること
6. 活動を通じて新しい知識や技能が身につくこと
7. 活動に参加すると多少の謝礼や特典が得られること
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

### 運動・スポーツに関する情報についておたずねします

**【問 14】** あなたは、運動・スポーツに関する情報（スポーツイベント、スポーツ教室等）をどのように入手していますか。 (○はいくつでも)

1. テレビやラジオ
2. ホームページ、SNS (Facebook, Twitter, Instagram, YouTube など)
3. 本や雑誌
4. 新聞や新聞広告
5. 電車・バス等の交通機関に貼られている広告
6. 知人・友人・家族
7. 行政の刊行物（市政だより、広報紙等）
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )



【問15】運動・スポーツに関して、どのような情報があれば良いと思いますか。

(○はいくつでも)

1. 自宅や室内でできる手軽な運動の情報
2. 運動・スポーツの紹介（種目ルール）や練習法に関する情報
3. 身近なウォーキングコースの情報
4. 市内のスポーツ施設に関する情報（施設の場所、空き情報、利用手続など）
5. 市内のスポーツ教室に関する情報
6. 市内で参加できる大会・イベントの情報
7. スポーツのクラブ・サークルの情報
8. スポーツ医科学についての情報
9. スポーツボランティアに関する情報
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

【問16】地域にゆかりのあるプロスポーツチームについて、

A. それぞれ観戦したことはありますか。

B. 今後、観戦してみたいと思いますか。 (それぞれ○は1つずつ)

プロチーム	A. 現状 (認知度、観戦の有無)			B. 今後の意向		
	観戦したことがある	知っている 観戦したことはないが、	知らない	試合会場に行つて観戦したい	テレビ・ラジオ・ネット等の試合中継で観戦したい	観戦したいとは思わない
①京都サンガ F.C. (プロサッカー)	1	2	3	1	2	3
②京都ハンナリーズ (プロバスケットボール)	1	2	3	1	2	3
③京都フローラ (女子プロ野球)	1	2	3	1	2	3



【問17】 地域にゆかりのあるプロスポーツチームに期待することは何ですか。

(○はいくつでも)

1. 地域住民へのスポーツ教室の開催
2. 選手やコーチ等の派遣
3. 交流会などのイベントの開催
4. 市主催事業・イベントへの参加
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

### 宇治市の施策等についておたずねします

【問18】 今後、運動・スポーツの活動を活発にしていくために、行政はどのような取り組みを進めていく必要があると思いますか。(○はいくつでも)

1. スポーツ施設の整備・設備の充実
2. 市民が気軽に参加できる大会・イベントの開催
3. スポーツ教室の開催
4. スポーツ指導者の育成
5. 大きなスポーツイベント・大会の開催（誘致）
6. プロスポーツチームやアスリートとの交流機会の充実
7. スポーツやスポーツ施設に関する情報の提供
8. 地域のスポーツ活動団体への支援
9. 健康・体力の相談体制の充実
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )



【問19】「ワールドマスターゲームズ2021関西」が1年延期され、2022年5月13日～5月29日の期間で、関西一円で開催されることを知っていますか。

(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らなかった
----------	-----------

【問20】「ワールドマスターゲームズ2021 関西」において、宇治市にある太陽が丘がフライングディスク（アルティメット）の開催地となっていることを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らなかった
----------	-----------

【問21】あなたは、宇治市内の下記の運動・スポーツに関する各種団体について知っていますか。(それぞれ○は1つずつ)

	知っている 名称も活動内容も	知らない あるが、活動内容は 知らない	知らない
①スポーツ協会	1	2	3
②スポーツ推進委員	1	2	3
③体育振興会	1	2	3

【各種団体の説明】	
① スポーツ協会	スポーツの健全な普及活動を図り、市民の体力向上と健康の増進及び青少年の健全育成に寄与することを目的とした団体。 宇治市では現在、24団体が加盟している。
② スポーツ推進委員	スポーツ推進のための実技の指導やその他スポーツに関する指導助言、事業の企画立案や連絡調整、地域住民や行政、スポーツ団体との間を円滑に取り持つコーディネーター。
③ 体育振興会	スポーツ・レクリエーション等を通じて、地域住民の健康増進・親睦を図ることを目的とする団体。 宇治市では現在、19団体が設立されている。

【問 22】 あなたは、宇治市が主催・共催している下記の運動・スポーツ事業について、参加または観戦をしたことがありますか。(それぞれ○はいくつでも)

	参加したことがある	見たことがある	知っているが、参加・観戦はしたことはない	知らない
① 宇治川マラソン大会	1	2	3	4
② 市民スポーツまつり	1	2	3	4
③ 市民ファミリーバドミントン大会	1	2	3	4
④ 市民駅伝競走大会	1	2	3	4
⑤ 宇治市障害者スポーツ大会	1	2	3	4
⑥ ニュースポーツひろば	1	2	3	4

【運動・スポーツ事業の説明】	
① 宇治川マラソン大会	毎年2月頃、多くの市民ボランティアにより開催される、日本全国から参加者が集まり宇治市内を走るマラソン大会。
② 市民スポーツまつり	毎年10月頃、太陽が丘の園内全域で体力測定や誰もが楽しめるニュースポーツコーナー、健康コーナー等を出展しているイベント。
③ 市民ファミリーバドミントン大会	毎年3月頃、西宇治体育館で行われるニュースポーツ・ファミリーバドミントンの大会。
④ 市民駅伝競走大会	毎年12月頃、太陽が丘で実施される駅伝大会。
⑤ 宇治市障害者スポーツ大会	毎年6月頃、西宇治体育館で市内の障害者が、「愛とふれあいの地域社会」をスローガンに掲げて実施するスポーツ大会。
⑥ ニュースポーツひろば	年間約30回、西宇治体育館・黄檗体育館で、市民の誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの機会を参加費無料で提供。



**【問 23】** 宇治市のスポーツ推進・振興のための施策・取り組みについて、あなたの満足度を教えてください。(○は1つ)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. とても満足       | 2. どちらかといえば満足 |
| 3. どちらかといえば不満足 | 4. 不満足        |
| 5. わからない       |               |

**【問 24】** 問 23 について、なぜそう思いましたか。(自由にご記入ください)




## ご意見・ご要望について

【問 25】 これからの宇治市の運動・スポーツに関する取り組みについて、期待することやご意見がありましたらご記入ください。(自由にご記入ください)


■最後に、あなたご自身のことについておたずねします。

### (1) 性別 (○は1つ)

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

### (2) 年齢 (○は1つ)

1. 20 歳代	2. 30 歳代	3. 40 歳代
4. 50 歳代	5. 60 歳代	6. 70 歳以上

### (3) 職業 (○は1つ)

1. 会社員・公務員	2. 自営業
3. パート・アルバイト等	4. 主婦・主夫
5. 学生	6. 無職
7. その他 (具体的に： _____ )	

**ご協力ありがとうございました。**

本調査票は、**8月2日(月)まで**に同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずにご投函ください。

## 2. 関係団体等アンケート調査

# 宇治市の取り組みに「あなたの声」を聞かせてください

## 宇治市スポーツ推進計画改定のためのアンケート調査

### ～ 調査へのご協力をお願い ～

市民の皆様には、日頃より、市政にご理解とご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

宇治市では、「スポーツが育むふるさと宇治の魅力と未来」の実現を目標に、「宇治市スポーツ推進計画」による取組を進めてきました。

この調査は、「宇治市スポーツ推進計画」の改定のため、市民の皆様へのアンケート調査を行うとともに、実際に運動・スポーツに取り組まれている団体等にも運動・スポーツに対するご意見をお伺いするものです。

いただいた内容は、宇治市スポーツ推進計画の改定をはじめ、今後のスポーツ施策の検討等のために活用させていただきます。

ご多忙のところ大変恐れ入りますが、なにとぞご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和3年7月

宇治市長 松村 淳子

### 【アンケートご記入にあたってのお願い】

- 結果については、統計的に集計し、個人の考えが公表されることはありません。
- 回答が「その他」の場合または意見の記入を求める場合は、カッコ内・欄内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- ご記入いただきましたアンケートは、**8月2日(月)まで**に、同封しております返信用封筒（切手を貼る必要はありません。）にて返送してください。

本調査はウェブでの回答が可能です。  
(ウェブ回答にご協力をお願いいたします。)



① ウェブブラウザのURL欄に、下記URLを入力してください。  
URL : <https://www.city.uji.kyoto.jp/site/sportsjigyoku/41991.html>

② スマートフォンで回答される場合は、右記のQRコードを読み取り、アクセスしてください。

<本調査に対するお問い合わせ先>

宇治市役所 産業地域振興部 文化スポーツ課

電話 : 0774-20-8759 / F A X : 0774-21-0408

E-mail : [bunkasportska@city.uji.kyoto.jp](mailto:bunkasportska@city.uji.kyoto.jp)

### 貴団体についておたずねします

【問1】貴団体の名称、回答者についてご記入ください。

団体名	
設立年数	年 月
回答者	氏名： 電話：

【問2】貴団体の運営者等について、概ねの年代別人数をご記入ください。

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
人	人	人	人	人	人	人	人

【問3】貴団体の参加者について、概ねの年代別人数をご記入ください。

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
人	人	人	人	人	人	人	人

### 貴団体の運営・活動の現状についておたずねします

【問4】貴団体の活動において、参加者を増やすために行われている取り組みと成果について、ご記入ください。(自由にご記入ください)

【参加人数等の増加に向けた取り組み】
【上記取り組みによる成果】

**【問5】** 貴団体の運営・活動について、今後どのようにしていきたいと思いませんか。

**(○はいくつでも)**

1. 指導者を増やしたい
2. 活動者を増やしたい
3. 練習場所を確保したい、練習場所の質を高めたい
4. 大会の場所を確保したい、大会の場所の質を高めたい
5. 団体の運営資金を増やしたい
6. 活動時間を増やしたい、活動日数を増やしたい
7. 団体の活動を地域に周知するなど、情報発信を行いたい
8. 大会等でもっとよい成績を残すことができる強い団体にしたい
9. よりたくさんの方がスポーツを楽しめる団体にしたい
10. 競技の知名度を高めたい、競技に対する理解を高めたい
11. 他のスポーツ団体と連携したい
12. 学校のクラブ活動と連携したい
13. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

**【問6】** 問5で回答いただいたような今後の目標に向けて、現在どのような取り組みをしていますか、また、今後どのような取り組みをしようと思いませんか。

**(自由にご記入ください)**

**【問7】** 問5で回答いただいたような今後の目標に向けて、行政からどのようなサポートを希望しますか。**(自由にご記入ください)**



## 新型コロナウイルス感染症の影響についておたずねします

【問8】新型コロナウイルス感染症の流行は、貴団体の活動に影響を及ぼしていますか。(○は1つ)

1. 影響が出ている ⇒【問9】へ
2. 現在は影響が出ていないが、今後、影響が出ると思う
3. 今後も影響はないと思う
4. わからない

【問9】問8で新型コロナウイルス感染症の流行により「1. 影響が出ている」を選択された方にお聞きします。

どのような影響が出ていますか。(自由にご記入ください)

## 宇治市の施策等についておたずねします

【問10】スポーツに関する情報について、行政からどのような情報があれば良いと思いますか。(○はいくつでも)

1. 自宅や室内でできる手軽な運動の情報
2. 運動・スポーツの紹介(種目ルール)や練習法に関する情報
3. 身近なウォーキングコースの情報
4. 市内のスポーツ施設に関する情報(施設の場所、空き情報、利用手続など)
5. 市内のスポーツ教室に関する情報
6. 市内で参加できる大会・イベントの情報
7. スポーツのクラブ・サークルの情報
8. スポーツ医科学についての情報
9. スポーツボランティアに関する情報
10. その他(具体的に： )

## ご意見・ご要望について

【問 11】 これからの宇治市の運動・スポーツに関する取り組みについて、期待することやご意見がありましたらご記入ください。(自由にご記入ください)


**ご協力ありがとうございました。**

本調査票は、8月2日（月）までに同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずにご投函ください。